

第2章 平等感

1. 各分野における男女の地位の平等感

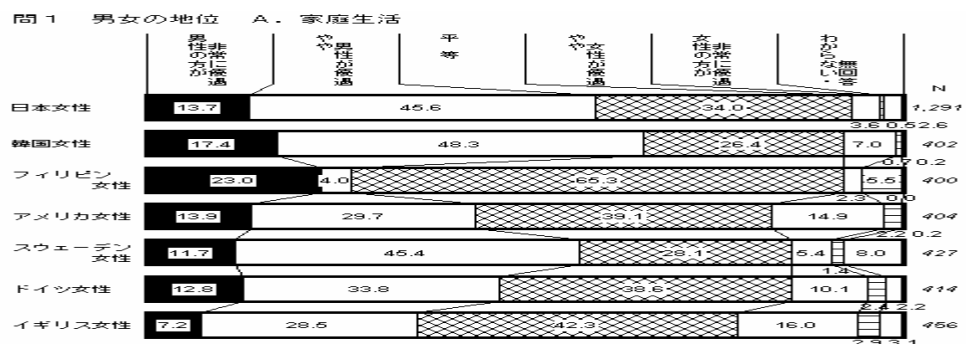
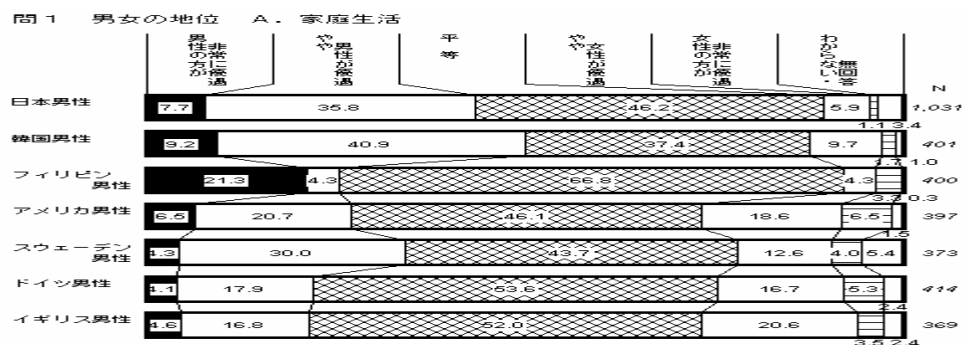
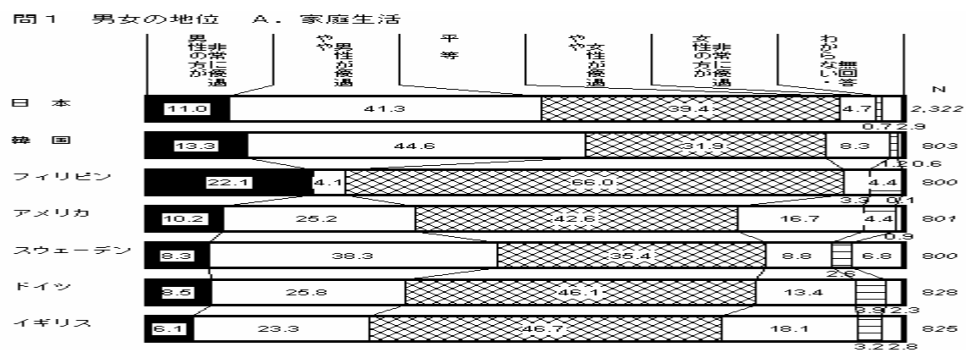
「家庭生活」、「職場」、「学校教育の場」、「政治の場」、「法律や制度の上」及び「社会通念・慣習・しきたりなど」の各分野における男女の地位の平等感について尋ねた。フィリピンは、どの分野でも「平等」とする人の割合が高く、平等感の強さがうかがえる。日本、韓国では、概して「男性が優遇」(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性の方が優遇」の合計)と感じる人の割合の高さが目立つ。スウェーデンは、世界でも男女共同参画が進んでいる国といわれているが、概して「男性が優遇」とする人の割合が高く、20年前と比べても「男性が優遇」の割合が大きく増加しており、やや減少傾向にある日本とは対照的な変化をみせている。

国を問わず、最も不平等感が強い分野は「政治の場」であった。

(1) 家庭生活

家庭生活における男女の地位については、「男性が優遇」(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性の方が優遇」の合計・次頁グラフ参照)とする回答が日本・韓国でのみ過半数となった。韓国の男性優遇意識は、57.9%と最も高く、「平等」とする人は31.9%と7カ国の中で最も少ない。「平等」の回答が最も多いのはフィリピン(66.0%)である。但しフィリピンは「男性の方が非常に優遇」も22.1%と、調査国中最も多い。「女性が優遇」(「女性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば女性の方が優遇」の合計)とする回答は、イギリス・アメリカで20%強に上る。これに対し、日本は「女性が優遇」が5.4%と最も低い。

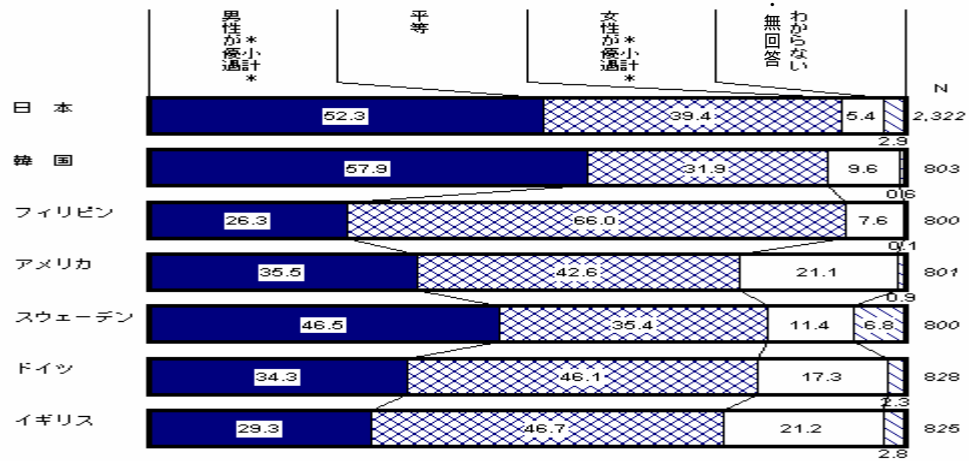
男女別にみると「平等」の割合は男性より女性の方が低く、フィリピン・アメリカ以外ではその差は10~15%に至るほど大きい(例えばスウェーデンで、男性43.7%、女性28.1%、ドイツで男性53.6%、女性38.6%)。スウェーデン女性の「男性が優遇」の割合も目立って高い。



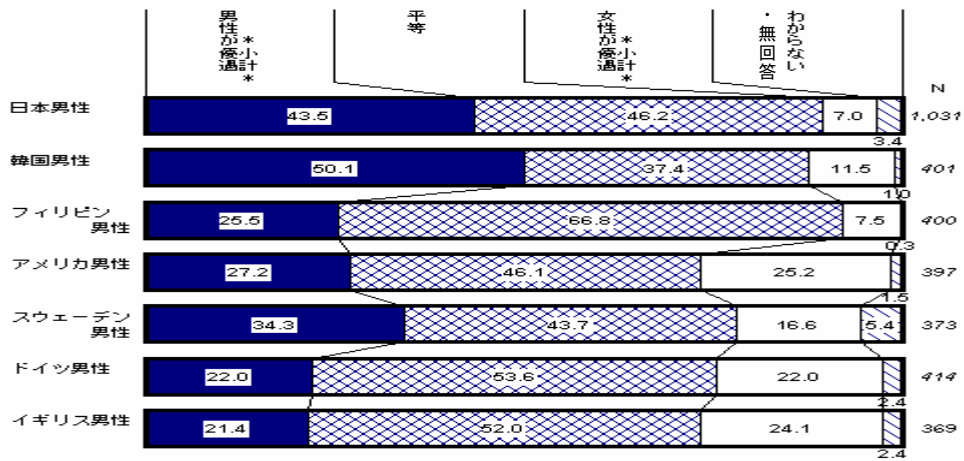
* 「やや男性(女性)が優遇」は「どちらかといえば男性(女性)の方が優遇」を示す。

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

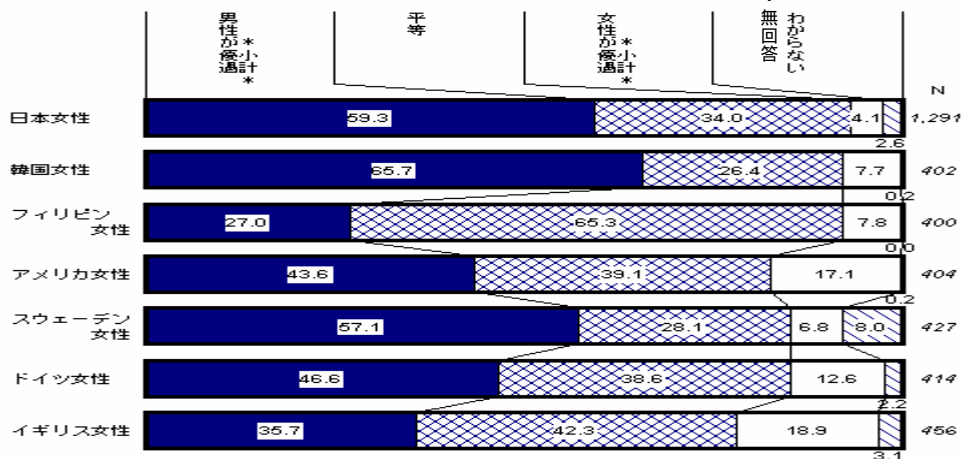
問1 A 男女の地位の平等感・家庭生活



問1 A 男女の地位の平等感・家庭生活



問1 A 男女の地位の平等感・家庭生活

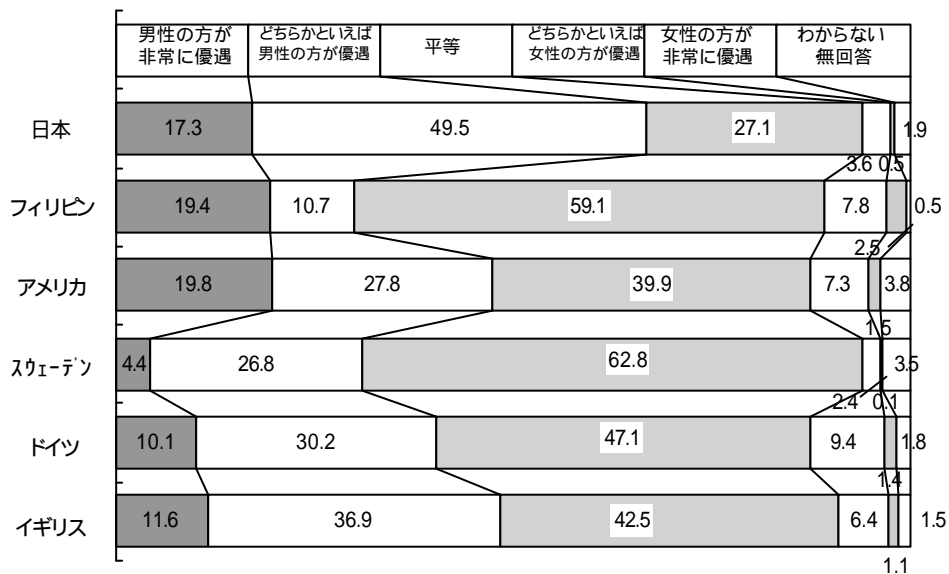


1982年調査との比較

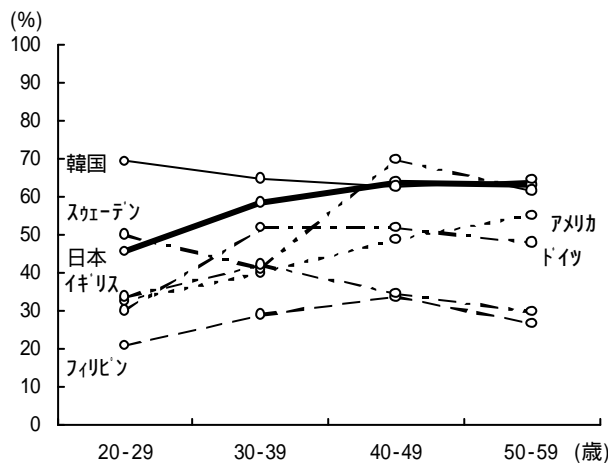
比較可能な6か国中、日本・フィリピン・アメリカ・イギリスでは「男性が優遇」されているという意識が減少しているが、スウェーデンとドイツではむしろ増加しており、特に、スウェーデンでは「男性が優遇」されているという回答が31.2%（「男性の方が非常に優遇」4.4% + 「どちらかといえば男性の方が優遇」26.8%）から57.1%（11.7% + 45.4%）にまで増加、「平等」という回答は62.8%から28.1%にまで大幅に減少している。「女性が優遇」という答えはほとんどの国で増えており、特にアメリカ（8.8%から17.1%）とイギリス（7.5%から18.9%）では大きく増加しているが、フィリピンだけはわずかに減少（10.3%から7.8%）している。日本はあまり変化がない。

家庭生活における男女の地位に関する年齢階級別に見た意識については、「男性が優遇」と考える人の割合が、1982年では、どの国もあまり年齢差が見られないが、2002年の調査結果では、ほとんどの国で、年齢層が高くなるとともに増加する傾向にある。その中で、スウェーデンと韓国は年齢が高くなるにつれて、「男性が優遇」と考える人の割合が低下していく傾向にある。特にスウェーデンでその傾向が顕著である。

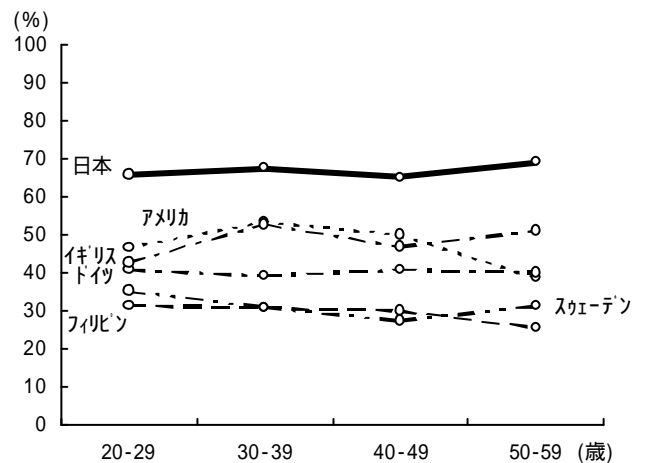
A. 家庭生活（1982年女性）



男性が優遇-2002年女性



男性が優遇-1982年女性



第2章 平等感

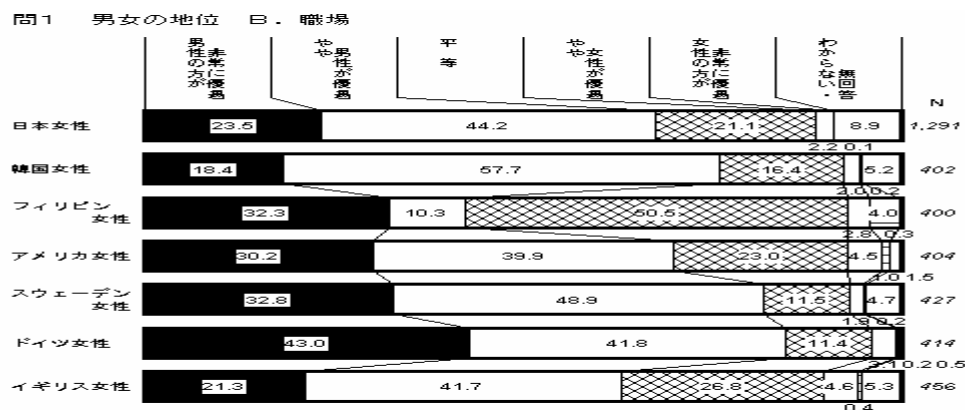
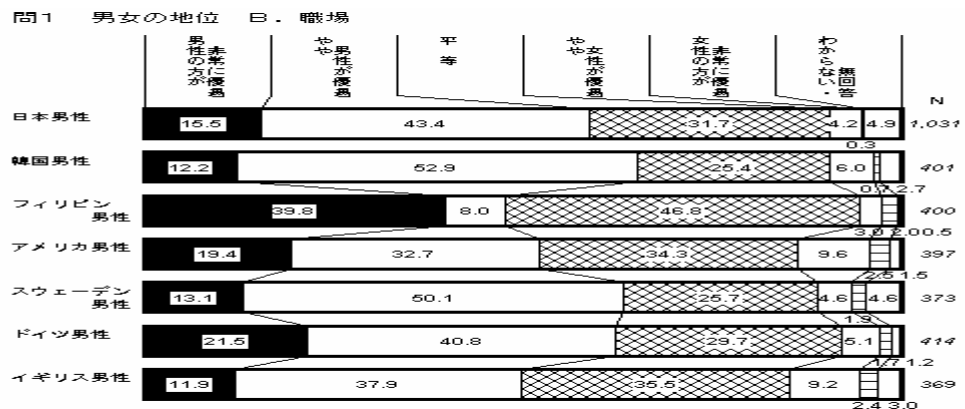
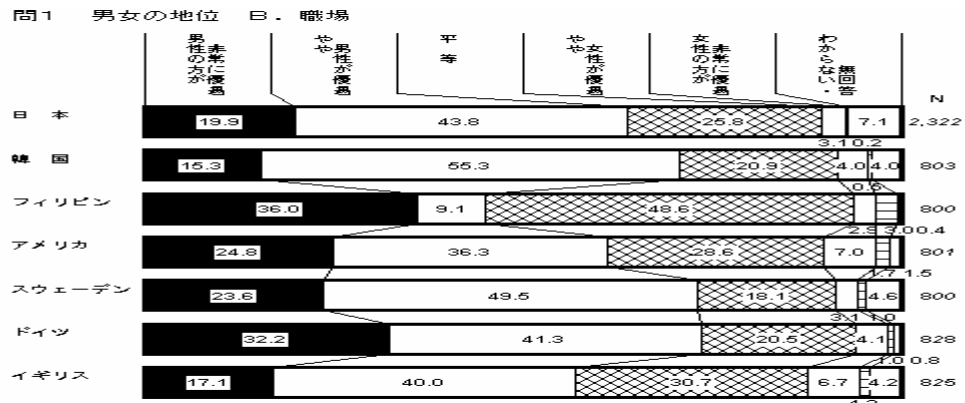
A. 家庭生活 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

国名		年度	合計	男性の方が非常に優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない・無回答
日本	総数	2002	1,291	13.7	45.6	34.0	3.6	0.5	2.6
		1982	1,294	17.3	49.5	27.1	3.6	0.5	1.9
	20-29歳	2002	208	6.7	38.9	43.3	5.3	1.4	4.3
		1982	239	14.2	51.5	27.2	3.3	0.4	3.3
	30-39歳	2002	310	8.4	50.0	36.5	3.5	0.3	1.3
		1982	443	16.7	50.8	26.4	4.1	0.5	1.6
	40-49歳	2002	317	17.7	46.1	31.2	2.8	0.3	1.9
		1982	340	16.8	48.2	28.5	3.2	0.9	2.4
	50-59歳	2002	456	17.8	45.4	30.0	3.5	0.2	3.1
		1982	272	21.7	47.4	26.5	3.7	-	0.7
韓国	総数	2002	402	17.4	48.3	26.4	7.0	0.7	0.2
		1992							
	20-29歳	2002	130	15.4	53.8	24.6	3.8	2.3	0.0
		1982							
	30-39歳	2002	122	16.4	48.4	28.7	6.6	0.0	0.0
		1982							
	40-49歳	2002	91	18.7	44.0	27.5	9.9	0.0	0.0
		1982							
	50-59歳	2002	59	22.0	42.4	23.7	10.2	0.0	1.7
		1982							
フィリピン	総数	2002	400	23.0	4.0	65.3	2.3	5.5	0.0
		1982	1,200	19.4	10.7	59.1	7.8	2.5	0.5
	20-29歳	2002	135	17.8	3.0	70.4	2.2	6.7	0.0
		1982	442	19.2	12.2	59.5	7.5	1.6	-
	30-39歳	2002	131	23.7	5.3	64.9	2.3	3.8	0.0
		1982	338	18.6	12.1	57.4	9.2	2.7	-
	40-49歳	2002	89	29.2	4.5	57.3	2.2	6.7	0.0
		1982	260	22.3	7.7	58.8	6.5	3.5	1.2
	50-59歳	2002	45	24.4	2.2	66.7	2.2	4.4	0.0
		1982	156	17.3	8.3	61.5	7.7	3.2	1.9
アメリカ	総数	2002	404	13.9	29.7	39.1	14.9	2.2	0.2
		1982	1,200	19.8	27.8	39.9	7.3	1.5	3.8
	20-29歳	2002	104	9.6	23.1	38.5	26.0	2.9	0.0
		1982	393	18.6	28.0	39.4	9.4	1.0	3.6
	30-39歳	2002	105	12.4	27.6	41.9	14.3	2.9	1.0
		1982	333	22.8	30.6	36.3	6.3	1.5	2.4
	40-49歳	2002	117	17.9	30.8	41.0	8.5	1.7	0.0
		1982	236	19.9	30.1	39.4	4.7	1.7	4.2
	50-59歳	2002	78	15.4	39.7	33.3	10.3	1.3	0.0
		1982	238	17.2	21.4	46.2	7.6	2.1	5.5
スウェーデン	総数	2002	427	11.7	45.4	28.1	5.4	1.4	8.0
		1982	1,220	4.4	26.8	62.8	2.4	0.1	3.5
	20-29歳	2002	94	11.7	38.3	34.0	6.4	1.1	8.5
		1982	267	4.9	30.3	59.9	3.0	0.4	1.5
	30-39歳	2002	90	10.0	31.1	34.4	8.9	2.2	13.3
		1982	401	4.5	26.4	61.6	2.0	-	5.5
	40-49歳	2002	126	13.5	56.3	19.0	4.0	1.6	5.6
		1982	274	4.0	23.4	67.9	1.1	-	3.6
	50-59歳	2002	117	11.1	50.4	28.2	3.4	0.9	6.0
		1982	276	4.0	27.2	62.7	3.6	-	2.5
ドイツ	総数	2002	414	12.8	33.8	38.6	10.1	2.4	2.2
		1982	1,333	10.1	30.2	47.1	9.4	1.4	1.8
	20-29歳	2002	80	5.0	25.0	55.0	8.8	2.5	3.8
		1982	352	9.7	31.0	45.2	12.2	0.3	1.7
	30-39歳	2002	120	15.0	36.7	35.0	11.7	1.7	0.0
		1982	301	9.3	29.9	49.2	8.3	1.7	1.7
	40-49歳	2002	116	12.9	38.8	37.1	6.9	1.7	2.6
		1982	349	11.5	29.2	47.6	8.6	1.4	1.7
	50-59歳	2002	98	16.3	31.6	31.6	13.3	4.1	3.1
		1982	325	10.2	29.8	47.7	8.0	2.2	2.2
イギリス	総数	2002	456	7.2	28.5	42.3	16.0	2.9	3.1
		1982	1,224	11.6	36.9	42.5	6.4	1.1	1.5
	20-29歳	2002	107	8.4	25.2	45.8	15.0	2.8	2.8
		1982	328	7.0	35.7	46.0	7.9	1.5	1.8
	30-39歳	2002	145	7.6	34.5	35.9	15.2	4.1	2.8
		1982	427	13.6	39.1	39.1	5.4	0.9	1.9
	40-49歳	2002	113	8.8	25.7	48.7	15.0	0.9	0.9
		1982	267	14.2	32.6	43.8	7.5	1.1	0.7
	50-59歳	2002	91	3.3	26.4	40.7	19.8	3.3	6.6
		1982	196	11.7	39.3	42.9	4.1	1.0	1.0

(2) 職場

職場における男女の地位の平等についても、フィリピンは48.6%が「平等」と答えその多さが突出している一方で、「男性の方が非常に優遇」も36.0%と目立って多い。フィリピンに次いで、「男性が優遇」の実感が薄く、平等の実感が強いのはイギリスである（「男性の方が非常に優遇」+「どちらかといえば男性の方が優遇」が57.1%、「平等」が30.7%）

男女別に見ると、フィリピン以外の全ての国で女性の方が強く「男性が優遇」と感じているが、それを最も強く感じているのはドイツ女性で、「男性の方が非常に優遇」が43.0%、「男性が優遇」（「男性の方が非常に優遇」+「どちらかといえば男性の方が優遇」の合計）では84.8%にも上る（次頁グラフ参照）。

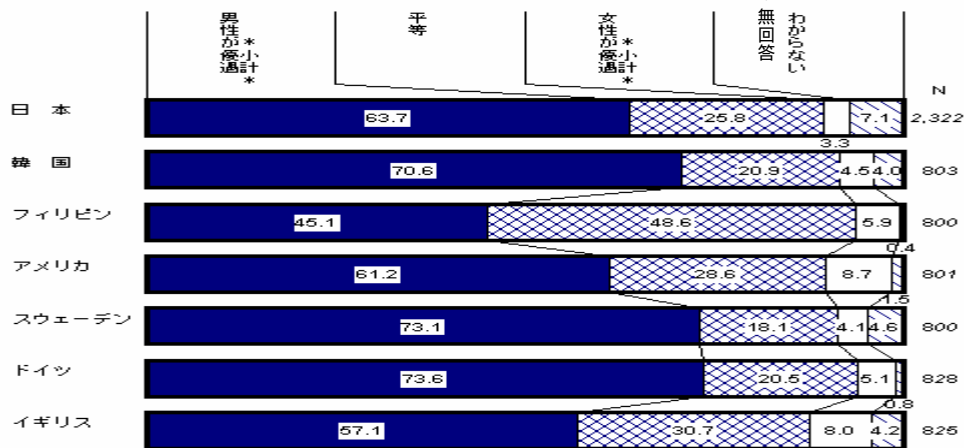


* 「やや男性（女性）が優遇」は「どちらかといえば男性（女性）の方が優遇」を示す。

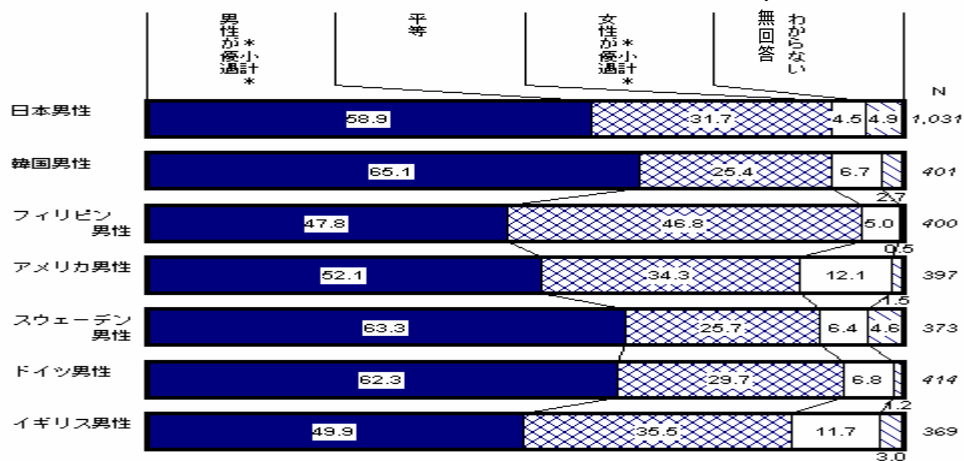
第2章 平等感

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

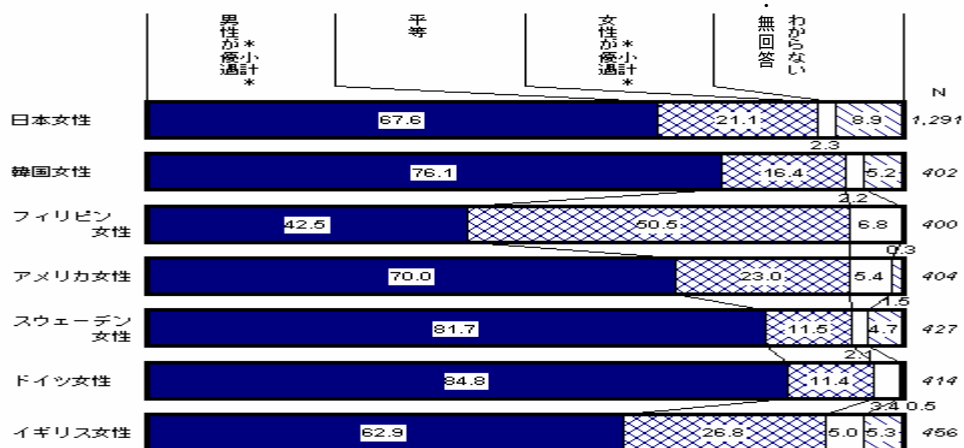
問1 B 男女の地位の平等感・職場



問1 B 男女の地位の平等感・職場



問1 B 男女の地位の平等感・職場

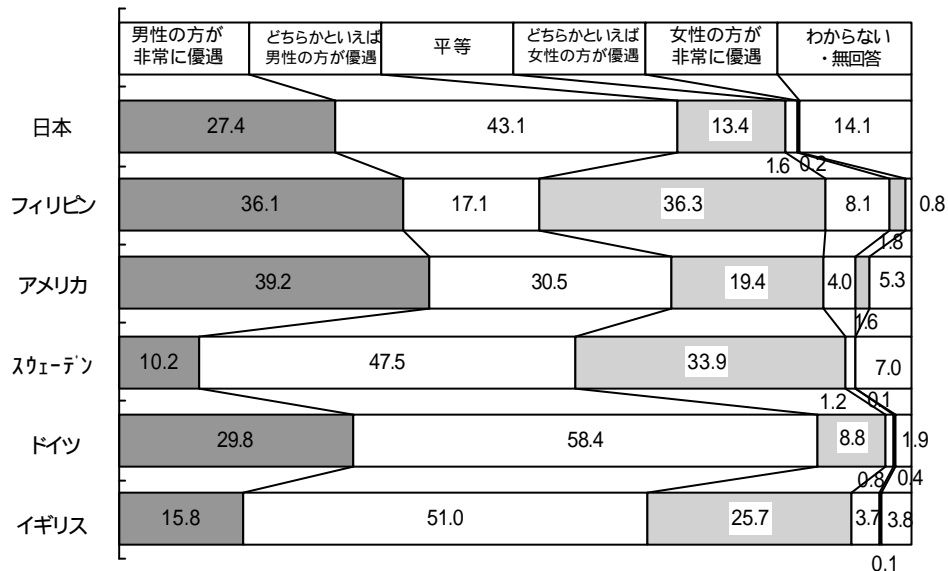


1982年調査との比較

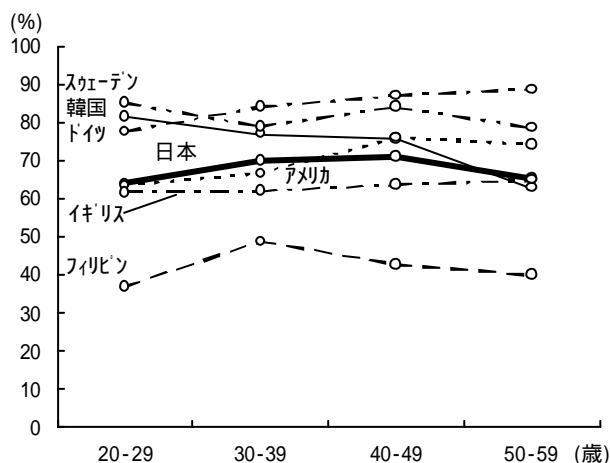
フィリピンと日本では、職場において「男性が優遇」されているという回答は減少している。逆に、スウェーデンは、1982年に57.7%だったのが、2002年には81.7%にまで増加し、ここでも、スウェーデンの「男性が優遇」の増加幅は目立っている。ドイツは「男性が優遇」では減少しているものの、「男性の方が非常に優遇」の回答はむしろ1982年調査の29.8%から43.0%に上昇している。ドイツだけでなくヨーロッパの3国は「男性の方が非常に優遇」の回答が増加している。

男性が優遇されているという認識は、1982年では、どの国でも年齢層が高くなるにつれ、若干減少する傾向にあった。2002年においては、逆に年齢が高くなるにつれ、割合が高くなる傾向にある。韓国だけは、年齢が高くなるほど、「男性が優遇」と感じている人の割合は減少しており、他の国とは逆の傾向にある。

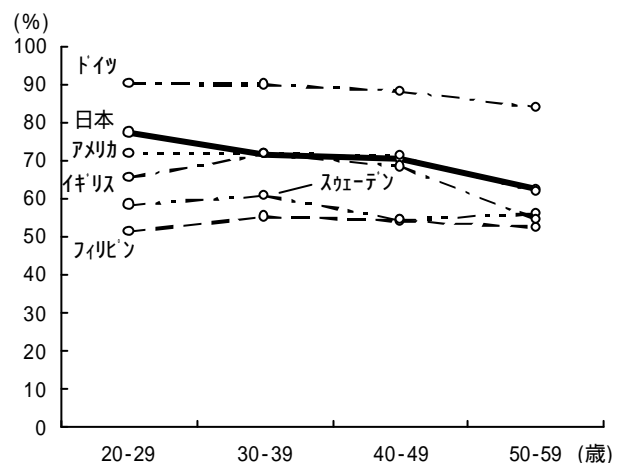
B. 職場 (1982年女性)



男性が優遇-2002年女性



男性が優遇-1982年女性



B. 職場 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

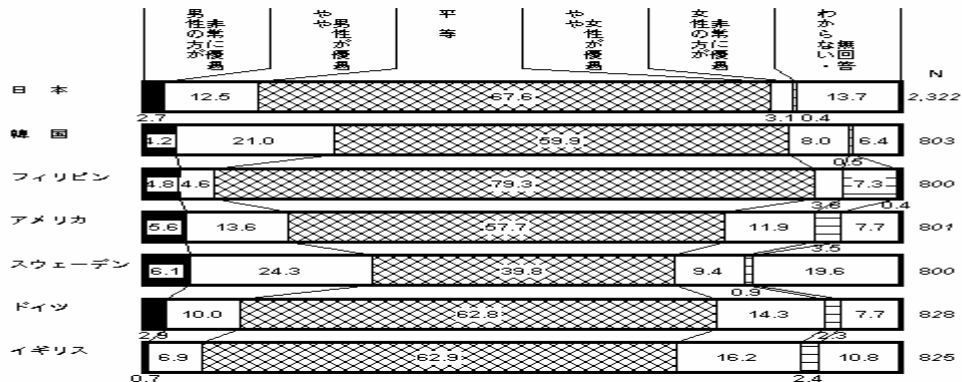
国名		年度	合計	男性の方が非常に優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない・無回答	
日本	総数	2002	1,291	23.5	44.2	21.1	2.2	0.1	8.9	
		1982	1,294	27.4	43.1	13.4	1.6	0.2	14.1	
	20-29歳	2002	208	23.1	40.9	27.9	1.0	0.5	6.7	
		1982	239	31.0	46.4	11.7	2.5	0.4	7.9	
	30-39歳	2002	310	23.9	46.1	21.6	2.3	0.0	6.1	
		1982	443	29.6	42.2	12.0	1.8	0.5	14.0	
	40-49歳	2002	317	23.7	47.3	19.2	1.9	0.0	7.9	
		1982	340	27.4	43.2	13.8	0.9	-	14.7	
	50-59歳	2002	456	23.2	42.1	19.1	3.1	0.0	12.5	
		1982	272	21.0	41.5	16.9	1.5	-	19.1	
	韓国	総数	2002	402	18.4	57.7	16.4	2.0	0.2	5.2
			1982							
20-29歳		2002	130	20.0	61.5	16.2	0.8	0.0	1.5	
		1982								
30-39歳		2002	122	21.3	55.7	17.2	0.8	0.8	4.1	
		1982								
40-49歳		2002	91	15.4	60.4	15.4	2.2	0.0	6.6	
		1982								
50-59歳		2002	59	13.6	49.2	16.9	6.8	0.0	13.6	
		1982								
フィリピン		総数	2002	400	32.3	10.3	50.5	2.8	4.0	0.3
			1982	1,200	36.1	17.1	36.3	8.1	1.8	0.8
	20-29歳	2002	135	28.1	8.9	54.1	3.0	5.2	0.7	
		1982	442	33.9	17.4	37.1	9.5	1.8	0.2	
	30-39歳	2002	131	37.4	11.5	48.1	3.1	0.0	0.0	
		1982	338	36.7	18.6	35.8	6.8	1.8	0.3	
	40-49歳	2002	89	31.5	11.2	50.6	1.1	5.6	0.0	
		1982	260	38.8	15.4	34.2	7.3	2.3	1.9	
	50-59歳	2002	45	31.1	8.9	46.7	4.4	8.9	0.0	
		1982	156	36.5	16.0	37.2	8.3	0.6	1.3	
	アメリカ	総数	2002	404	30.2	39.9	23.0	4.5	1.0	1.5
			1982	1,200	39.2	30.5	19.4	4.0	1.6	5.3
20-29歳		2002	104	30.8	32.7	26.0	6.7	1.9	1.9	
		1982	393	41.2	30.5	18.1	5.3	1.5	3.3	
30-39歳		2002	105	25.7	41.0	24.8	5.7	1.0	1.9	
		1982	333	39.9	31.8	17.7	3.3	2.1	5.1	
40-49歳		2002	117	31.6	44.4	18.8	2.6	0.9	1.7	
		1982	236	38.1	33.1	18.6	1.3	1.7	7.2	
50-59歳		2002	78	33.3	41.0	23.1	2.6	0.0	0.0	
		1982	238	35.7	26.1	24.8	5.5	0.8	7.1	
スウェーデン		総数	2002	427	32.8	48.9	11.5	1.9	0.2	4.7
			1982	1,220	10.2	47.5	33.9	1.2	0.1	7.0
	20-29歳	2002	94	30.9	54.3	9.6	1.1	0.0	4.3	
		1982	267	9.7	48.7	36.3	0.7	0.4	4.1	
	30-39歳	2002	90	26.7	52.2	13.3	0.0	0.0	7.8	
		1982	401	13.0	47.9	29.2	1.2	-	8.7	
	40-49歳	2002	126	36.5	47.6	8.7	3.2	0.8	3.2	
		1982	274	10.2	44.2	36.9	1.8	-	6.9	
	50-59歳	2002	117	35.0	43.6	14.5	2.6	0.0	4.3	
		1982	276	6.5	49.6	35.5	0.7	-	7.6	
	ドイツ	総数	2002	414	43.0	41.8	11.4	3.1	0.2	0.5
			1982	1,333	29.8	58.4	8.8	0.8	0.4	1.9
20-29歳		2002	80	31.3	46.3	20.0	2.5	0.0	0.0	
		1982	352	31.0	59.1	8.5	-	-	1.4	
30-39歳		2002	120	39.2	45.0	9.2	5.0	0.8	0.8	
		1982	301	29.2	60.8	7.3	1.0	-	1.7	
40-49歳		2002	116	44.0	43.1	9.5	2.6	0.0	0.9	
		1982	349	30.7	57.6	8.3	1.1	1.1	1.1	
50-59歳		2002	98	56.1	32.7	9.2	2.0	0.0	0.0	
		1982	325	27.7	56.3	11.1	1.2	0.3	3.4	
イギリス		総数	2002	456	21.3	41.7	26.8	4.6	0.4	5.3
			1982	1,224	15.8	51.0	25.7	3.7	0.1	3.8
	20-29歳	2002	107	17.8	43.9	31.8	3.7	0.9	1.9	
		1982	328	14.6	50.9	26.2	5.8	-	2.4	
	30-39歳	2002	145	23.4	38.6	27.6	5.5	0.0	4.8	
		1982	427	16.4	55.3	22.5	3.3	-	2.6	
	40-49歳	2002	113	21.2	42.5	24.8	4.4	0.9	6.2	
		1982	267	21.3	47.2	23.2	3.0	-	5.2	
	50-59歳	2002	91	22.0	42.9	22.0	4.4	0.0	8.8	
		1982	196	8.7	45.9	35.7	2.0	0.5	7.1	

(3) 学校教育の場

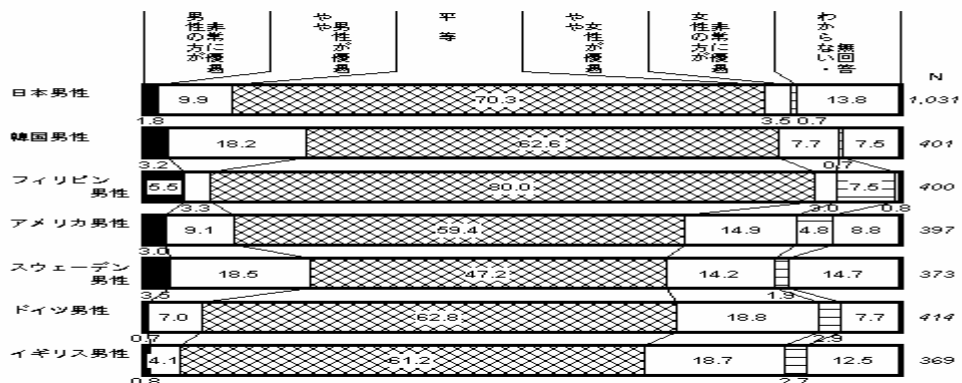
学校教育に関しては、他の分野に比べて、「平等」という認識がいずれの国でも高く、50%台後半～80%弱を占める。しかし、スウェーデンでは「平等」は39.8%と他の国に比べて目立って低い。「男性が優遇」（「男性の方が非常に優遇」+「どちらかといえば男性の方が優遇」）の比率を見ると、スウェーデンで30.4%、韓国で25.3%とやや高くなっている。逆に「女性が優遇」の比率は、イギリス（18.7%）、ドイツ（16.5%）、アメリカ（15.4%）で比較的高い（次頁グラフ参照）。

男女別にみて性差は余り目立たないが、スウェーデンでは「平等」が男性47.2%に対して女性33.3%と13.9%ポイントもの差があり、また、「男性が優遇」とする女性が37.7%と、約4割もの女性が感じていることが目立っている。

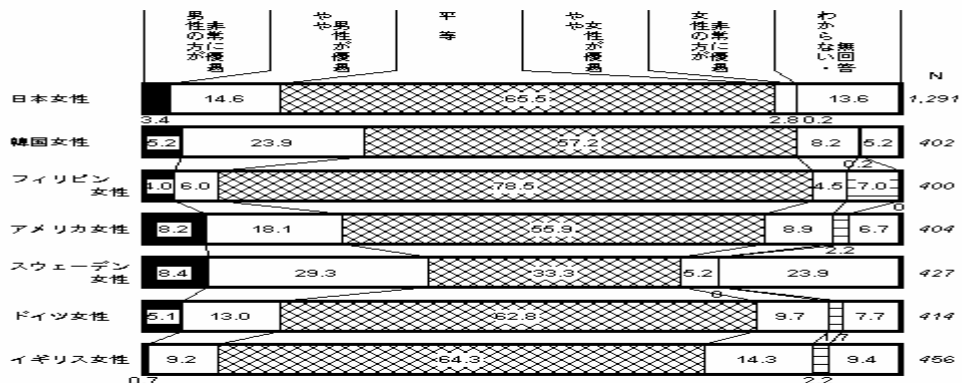
問1 男女の地位 C. 学校教育の場



問1 男女の地位 C. 学校教育の場



問1 男女の地位 C. 学校教育の場

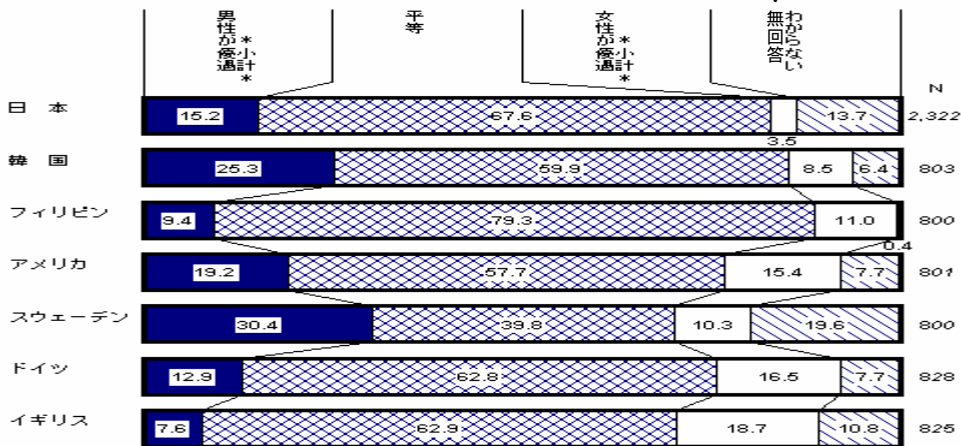


* 「やや男性（女性）が優遇」は「どちらかといえば男性（女性）の方が優遇」を示す。

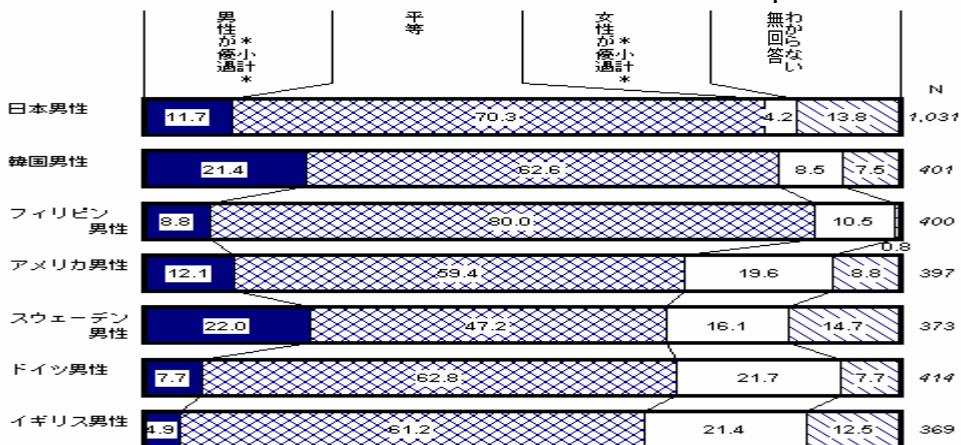
第2章 平等感

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

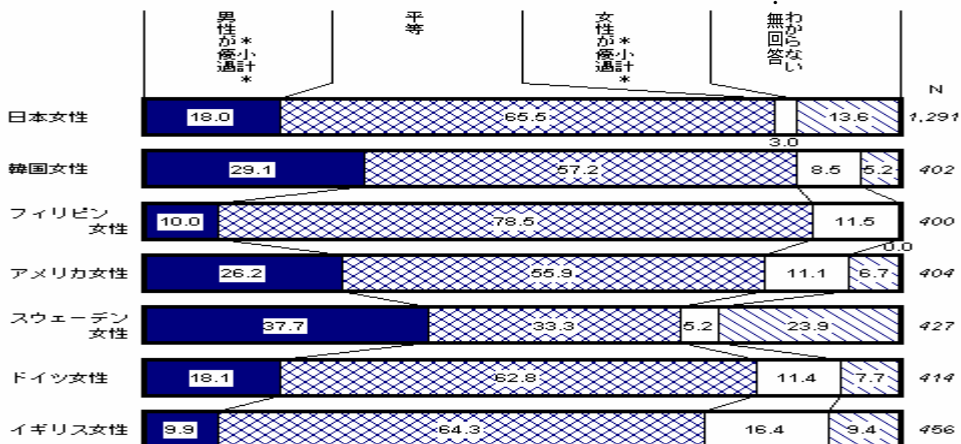
問1 C 男女の地位の平等感・学校教育の場



問1 C 男女の地位の平等感・学校教育の場



問1 C 男女の地位の平等感・学校教育の場

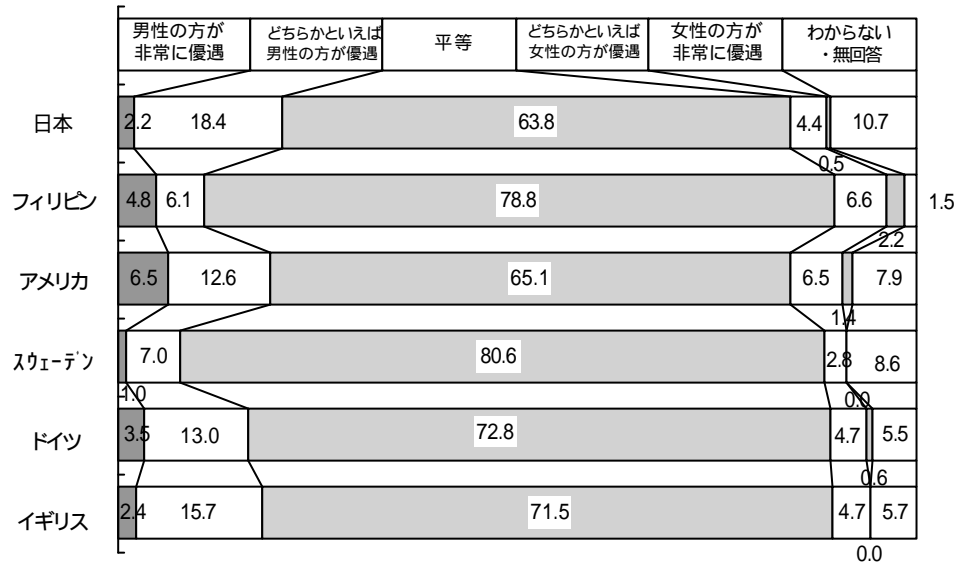


1982年調査との比較

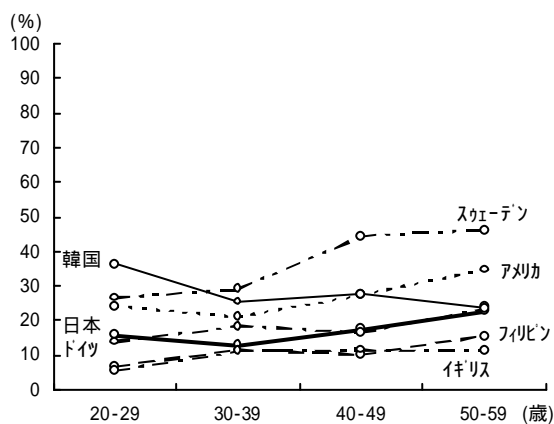
日本・フィリピンでは学校教育の場では「平等」という大勢の認識は20年間でそれほど大きな違いはなく、「男性が優遇」も減少しているが、欧米4カ国は「平等」が大きく減少し、「男性が優遇」が増加している。「女性が優遇」はほとんどの国で変化の幅に差はあれ増加しているが、日本は若干減少（4.9%から3.0%）している。イギリスは「女性が優遇」の増加が4.7%から16.4%と最も大きい。

「男性が優遇」と感じている人について、1982年には、どの国もほとんど年齢差が見られなかったが、2002年において、スウェーデンの40歳以上での「男性が優遇」と考える人の割合の上昇率が目立つ。

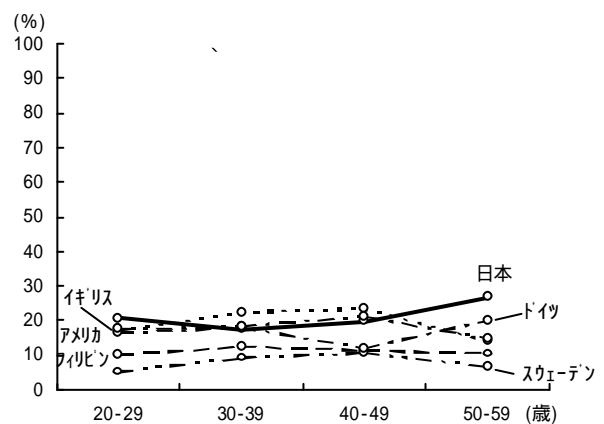
C. 学校教育 (1982年女性)



男性が優遇-2002年女性



男性が優遇-1982年女性



C. 学校教育の場 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

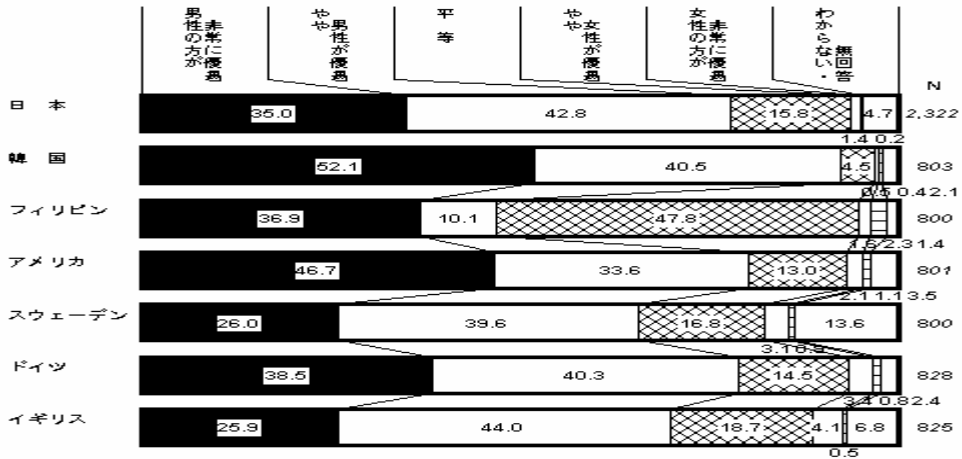
国名		年度	合計	男性の方が非常に優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない・無回答
日本	総数	2002	1,291	3.4	14.6	65.5	2.8	0.2	13.6
		1982	1,294	2.2	18.4	63.8	4.4	0.5	10.7
	20-29歳	2002	208	1.4	14.4	70.7	1.9	0.0	11.5
		1982	239	1.3	19.2	70.7	2.5	0.4	5.9
	30-39歳	2002	310	1.6	11.3	76.5	3.2	0.0	7.4
		1982	443	1.6	16.0	67.0	5.2	0.7	9.5
	40-49歳	2002	317	2.8	14.8	67.5	2.8	0.6	11.4
		1982	340	2.4	17.4	65.3	6.2	0.3	8.5
	50-59歳	2002	456	5.9	16.7	54.2	2.9	0.2	20.2
		1982	272	4.0	22.8	50.7	2.6	0.4	19.5
韓国	総数	2002	402	5.2	23.9	57.2	8.2	0.2	5.2
		1982							
	20-29歳	2002	130	3.8	32.3	56.9	5.4	0.0	1.5
		1982							
	30-39歳	2002	122	7.4	18.0	56.6	11.5	0.8	5.7
		1982							
	40-49歳	2002	91	6.6	20.9	59.3	9.9	0.0	3.3
		1982							
	50-59歳	2002	59	1.7	22.0	55.9	5.1	0.0	15.3
		1982							
フィリピン	総数	2002	400	4.0	6.0	78.5	4.5	7.0	0.0
		1982	1,200	4.8	6.1	78.8	6.6	2.2	1.5
	20-29歳	2002	135	2.2	4.4	80.7	3.0	9.6	0.0
		1982	442	4.5	5.4	79.0	7.5	2.5	1.1
	30-39歳	2002	131	3.1	8.4	76.3	7.6	4.6	0.0
		1982	338	5.3	7.1	77.8	5.3	3.0	1.5
	40-49歳	2002	89	4.5	5.6	76.4	4.5	9.0	0.0
		1982	260	5.0	6.2	79.2	6.9	1.5	1.2
	50-59歳	2002	45	11.1	4.4	82.2	0.0	2.2	0.0
		1982	156	4.5	5.8	79.5	6.4	0.6	3.2
アメリカ	総数	2002	404	8.2	18.1	55.9	8.9	2.2	6.7
		1982	1,200	6.5	12.6	65.1	6.5	1.4	7.9
	20-29歳	2002	104	8.7	15.4	61.5	8.7	2.9	2.9
		1982	393	5.3	11.7	68.7	6.6	1.3	6.4
	30-39歳	2002	105	4.8	16.2	61.9	8.6	3.8	4.8
		1982	333	7.2	15.0	64.0	7.5	0.9	5.4
	40-49歳	2002	117	11.1	16.2	51.3	10.3	1.7	9.4
		1982	236	8.5	14.8	59.3	5.9	3.4	8.1
	50-59歳	2002	78	7.7	26.9	47.4	7.7	0.0	10.3
		1982	238	5.5	8.4	66.4	5.5	0.4	13.9
スウェーデン	総数	2002	427	8.4	29.3	33.3	5.2	0.0	23.9
		1982	1,220	1.0	7.0	80.6	2.8	-	8.6
	20-29歳	2002	94	2.1	24.5	50.0	10.6	0.0	12.8
		1982	267	1.1	4.1	88.4	2.2	-	4.1
	30-39歳	2002	90	2.2	26.7	40.0	3.3	0.0	27.8
		1982	401	1.7	7.5	79.3	1.7	-	9.7
	40-49歳	2002	126	11.9	32.5	23.8	4.8	0.0	27.0
		1982	274	0.4	10.2	79.9	2.9	-	6.6
	50-59歳	2002	117	14.5	31.6	24.8	2.6	0.0	26.5
		1982	276	0.4	6.2	75.4	4.7	-	13.4
ドイツ	総数	2002	414	5.1	13.0	62.8	9.7	1.7	7.7
		1982	1,333	3.5	13.0	72.8	4.7	0.6	5.5
	20-29歳	2002	80	5.0	8.8	71.3	8.8	1.3	5.0
		1982	352	3.7	12.5	75.0	4.8	0.3	3.7
	30-39歳	2002	120	4.2	14.2	58.3	10.8	2.5	10.0
		1982	301	4.7	13.3	70.8	4.7	0.3	6.3
	40-49歳	2002	116	5.2	11.2	62.9	12.1	2.6	6.0
		1982	349	2.0	10.0	76.2	6.0	0.6	5.2
	50-59歳	2002	98	6.1	17.3	61.2	6.1	0.0	9.2
		1982	325	4.0	16.0	65.6	3.1	1.2	7.1
イギリス	総数	2002	456	0.7	9.2	64.3	14.3	2.2	9.4
		1982	1,224	2.4	15.7	81.5	4.7	-	5.7
	20-29歳	2002	107	0.0	5.6	68.2	15.9	3.7	6.5
		1982	328	1.8	15.5	73.5	5.5	-	3.7
	30-39歳	2002	145	0.7	10.3	69.7	12.4	1.4	5.5
		1982	427	2.1	16.2	71.9	4.0	-	5.9
	40-49歳	2002	113	0.0	11.5	58.4	16.8	2.7	10.6
		1982	267	4.1	16.9	67.8	5.6	-	5.6
	50-59歳	2002	91	2.2	8.8	58.2	12.1	1.1	17.6
		1982	196	1.5	13.3	72.4	4.1	-	8.7

(4) 政治の場

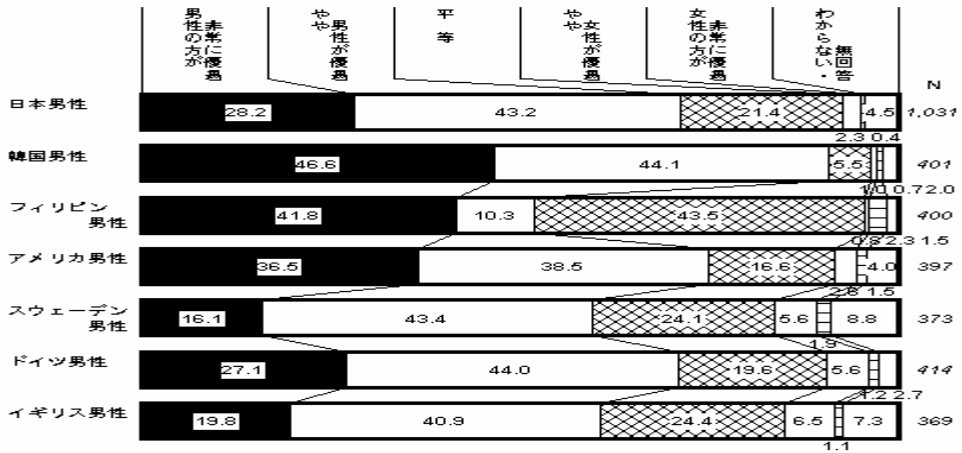
「男性が優遇」(「男性の方が非常に優遇」+「どちらかといえば男性の方が優遇」)が最も高いのは韓国で、92.5%を占める(次頁グラフ参照)。フィリピンは「平等」と感じている者の割合が、47.8%と他国と比べて、目立って高く、「男性が優遇」で見ると比較国中で一番低い。また、「男性の方が非常に優遇」で見ると、スウェーデン・イギリスの方が少ない。

女性では、韓国(女性 57.5%)・アメリカ(女性 56.7%)に次いで、ドイツ女性の50.0%が「男性の方が非常に優遇」と感じている。フィリピンは、「平等」と感じている女性が52.0%と極めて高く、今回比較を行った国の中で、唯一、「平等」と感じている人の割合が男性より女性の方が高い。

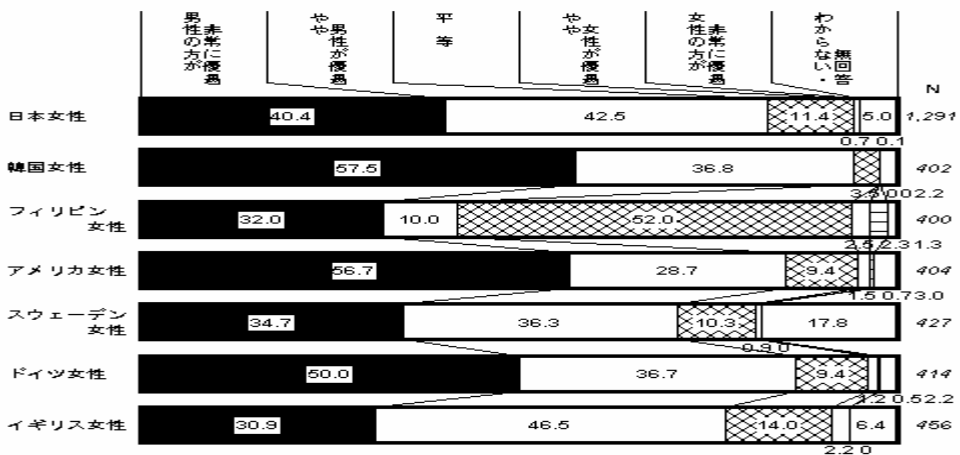
問1 男女の地位 D. 政治の場



問1 男女の地位 D. 政治の場



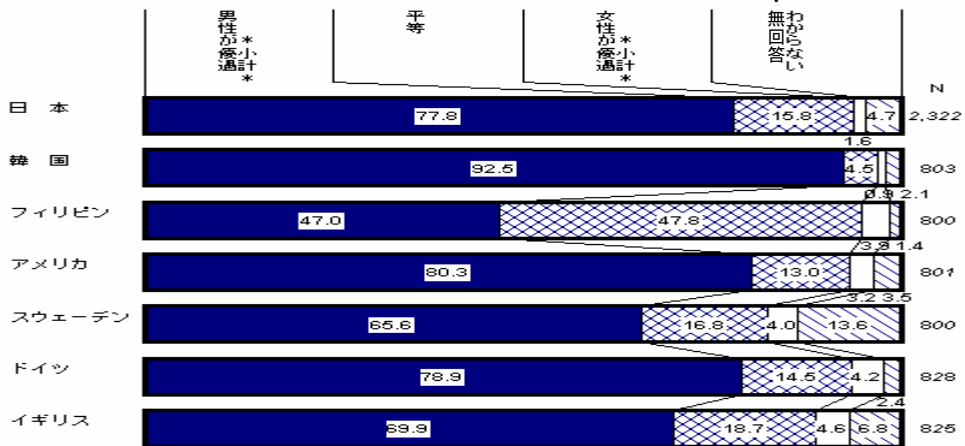
問1 男女の地位 D. 政治の場



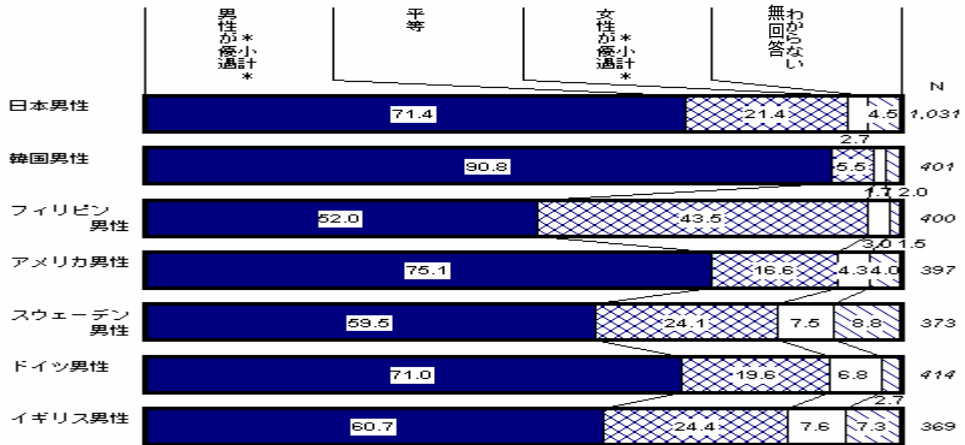
* 「やや男性(女性)が優遇」は「どちらかといえば男性(女性)の方が優遇」を示す。

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

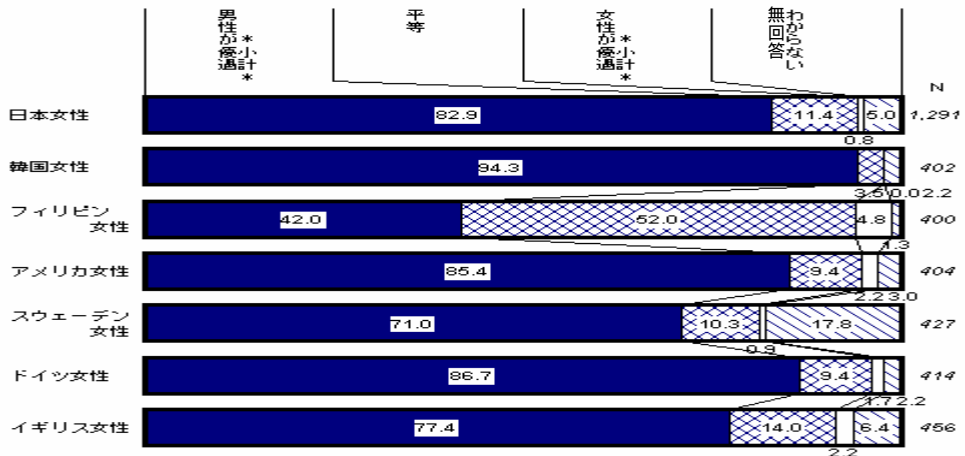
問1 D 男女の地位の平等感・政治の場



問1 D 男女の地位の平等感・政治の場



問1 D 男女の地位の平等感・政治の場

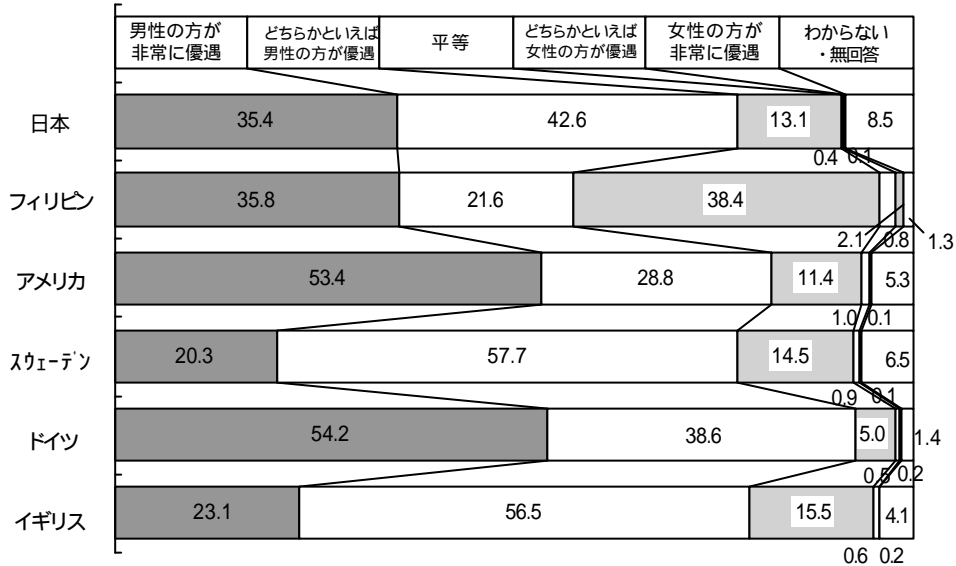


1982年調査との比較

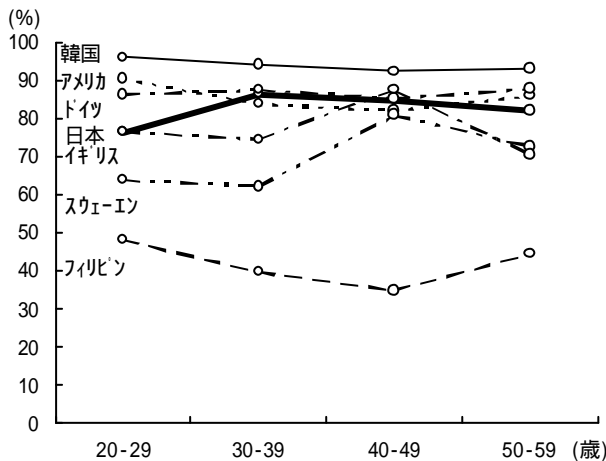
フィリピン・スウェーデン・ドイツ・イギリスでは政治の場における「男性が優遇」の認識は減少しているが、日本・アメリカでは増加している。「平等」の認識が有意に増加したのは、ドイツ（5.0%から9.4%）とフィリピン（38.4%から52.0%）のみである。

「男性が優遇」との感じ方について、1982年は年齢による差は余りなかった。2002年には、スウェーデンとイギリスいずれでも40歳台が高い割合を示す。スウェーデンでは、39歳以下の年齢層より50～59歳層の割合の方が高い。

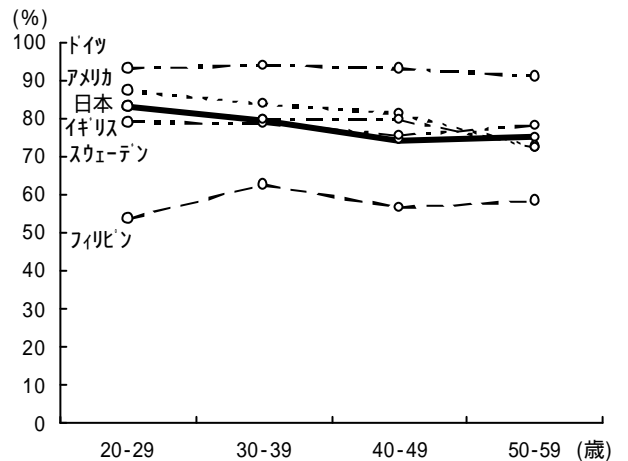
D. 政治の場（1982年女性）



男性が優遇-2002年女性



男性が優遇-1982年女性



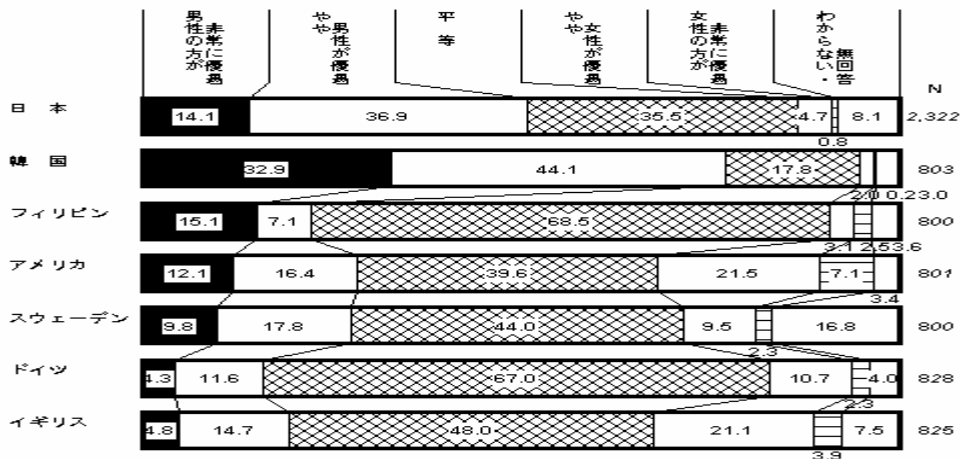
D. 政治の場 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

国名		年度	合計	男性の方が非常に優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない・無回答
日本	総数	2002	1,291	40.4	42.5	11.4	0.7	0.1	5.0
		1982	1,294	35.4	42.6	13.1	0.4	0.1	8.5
	20-29歳	2002	208	36.1	40.4	13.5	0.0	0.0	10.1
		1982	239	39.7	43.5	10.9	-	-	5.9
	30-39歳	2002	310	45.5	41.0	9.7	0.3	0.0	3.5
		1982	443	38.6	41.1	12.2	0.5	0.2	7.4
	40-49歳	2002	317	40.7	44.2	10.4	0.9	0.0	3.8
		1982	340	34.4	40.0	16.8	0.3	-	8.5
	50-59歳	2002	456	38.6	43.4	12.3	1.1	0.2	4.4
		1982	272	27.6	47.4	11.8	0.7	-	12.5
韓国	総数	2002	402	57.5	36.8	3.5	0.0	0.0	2.2
		1982							
	20-29歳	2002	130	56.9	39.2	2.3	0.0	0.0	1.5
		1982							
	30-39歳	2002	122	63.9	30.3	4.1	0.0	0.0	1.6
		1982							
	40-49歳	2002	91	53.8	38.5	6.6	0.0	0.0	1.1
		1982							
	50-59歳	2002	59	50.8	42.4	0.0	0.0	0.0	6.8
		1982							
フィリピン	総数	2002	400	32.0	10.0	52.0	2.5	2.3	1.3
		1982	1,200	35.8	21.6	38.4	2.1	0.8	1.3
	20-29歳	2002	135	38.5	9.6	44.4	2.2	4.4	0.7
		1982	442	31.7	21.9	41.6	21.5	0.9	1.4
	30-39歳	2002	131	32.8	6.9	56.5	1.5	0.0	2.3
		1982	338	42.9	19.8	34.9	0.9	0.3	1.2
	40-49歳	2002	89	23.6	11.2	57.3	4.5	2.2	1.1
		1982	260	36.2	20.4	38.1	3.5	1.2	0.8
	50-59歳	2002	45	26.7	17.8	51.1	2.2	2.2	0.0
		1982	156	32.1	26.3	37.2	1.3	1.3	1.9
アメリカ	総数	2002	404	56.7	28.7	9.4	1.5	0.7	3.0
		1982	1,200	53.4	28.8	11.4	1.0	0.1	5.3
	20-29歳	2002	104	62.5	27.9	7.7	1.0	0.0	1.0
		1982	393	57.3	30.0	8.1	1.3	0.3	3.1
	30-39歳	2002	105	55.2	28.6	9.5	1.9	0.0	4.8
		1982	333	55.9	27.9	10.8	0.6	-	4.8
	40-49歳	2002	117	56.4	25.6	12.8	1.7	0.9	2.6
		1982	236	53.8	27.5	12.7	0.4	-	5.5
	50-59歳	2002	78	51.3	34.6	6.4	1.3	2.6	3.8
		1982	238	43.3	29.4	16.4	1.7	-	9.2
スウェーデン	総数	2002	427	34.7	36.3	10.3	0.9	0.0	17.8
		1982	1,220	20.3	57.7	14.5	0.9	0.1	6.5
	20-29歳	2002	94	21.3	42.6	16.0	2.1	0.0	18.1
		1982	267	25.1	53.9	13.9	0.7	-	6.4
	30-39歳	2002	90	30.0	32.2	11.1	1.1	0.0	25.6
		1982	401	21.2	57.6	11.5	1.0	0.2	8.5
	40-49歳	2002	126	44.4	36.5	7.1	0.0	0.0	11.9
		1982	274	20.8	54.7	17.2	1.1	-	6.2
	50-59歳	2002	117	38.5	34.2	8.5	0.9	0.0	17.9
		1982	276	13.8	64.5	17.0	0.7	-	4.0
ドイツ	総数	2002	414	50.0	36.7	9.4	1.2	0.5	2.2
		1982	1,333	54.2	38.6	5.0	0.5	0.2	1.4
	20-29歳	2002	80	43.8	42.5	12.5	0.0	0.0	1.3
		1982	352	58.8	34.4	3.4	1.4	-	2.0
	30-39歳	2002	120	48.3	39.2	8.3	1.7	0.8	1.7
		1982	301	52.8	41.2	5.0	0.3	-	0.7
	40-49歳	2002	116	49.1	36.2	7.8	1.7	0.0	5.2
		1982	349	55.0	38.1	5.2	0.3	0.3	1.1
	50-59歳	2002	98	58.2	29.6	10.2	1.0	1.0	0.0
		1982	325	50.2	40.9	6.8	-	0.3	1.8
イギリス	総数	2002	456	30.9	46.5	14.0	2.2	0.0	6.4
		1982	1,224	23.1	56.5	15.5	0.6	0.2	4.1
	20-29歳	2002	107	41.1	35.5	15.0	1.9	0.0	6.5
		1982	328	24.1	59.1	14.0	-	-	2.7
	30-39歳	2002	145	28.3	46.2	17.9	0.7	0.0	6.9
		1982	427	23.2	56.4	15.5	0.2	0.2	4.4
	40-49歳	2002	113	29.2	58.4	8.0	0.0	0.0	4.4
		1982	267	23.2	56.6	14.6	1.1	0.4	4.1
	50-59歳	2002	91	25.3	45.1	14.3	7.7	0.0	7.7
		1982	196	21.4	51.0	19.9	1.5	0.5	5.6

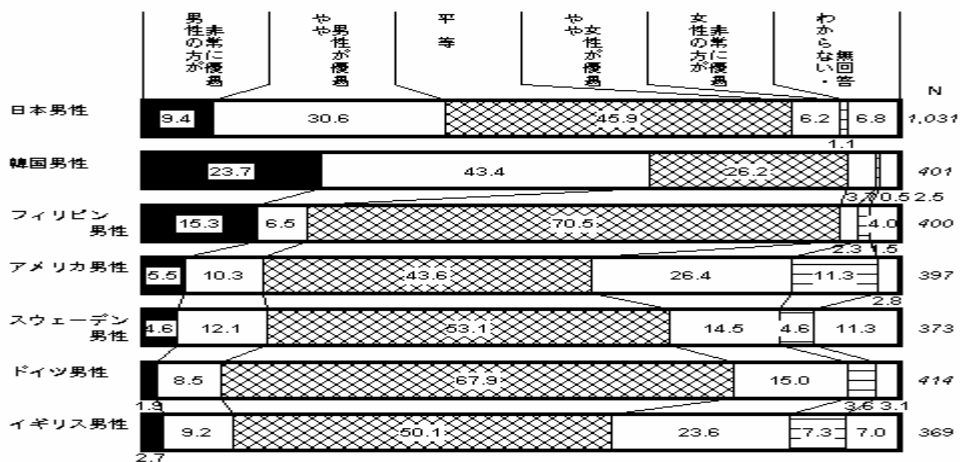
(5) 法律や制度の上

法律や制度の上で男性優遇の実感が強いのは、日本（「男性の方が非常に優遇」+「どちらかといえば男性の方が優遇」が51.0%）と韓国（同・77.0%）である。特に韓国は、抜きん出て男性優遇の実感が強い。反対に「平等」という認識が高いのは、ドイツ（67.0%）であり、この実感は男性67.9%、女性66.2%と、男女差がほとんど見られない。アメリカ、イギリスでは、「女性が優遇」（「女性の方が非常に優遇」+「どちらかといえば女性が優遇」）と考える人が多い。特に、アメリカの男性でその傾向が強く、37.8%が「女性が優遇」と考えている。（次頁グラフ参照）

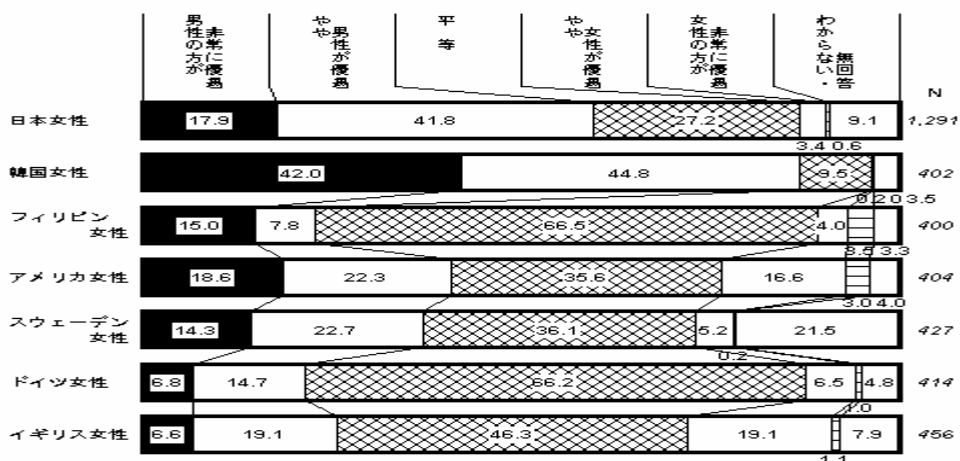
問1 男女の地位 E. 法律や制度の上



問1 男女の地位 E. 法律や制度の上



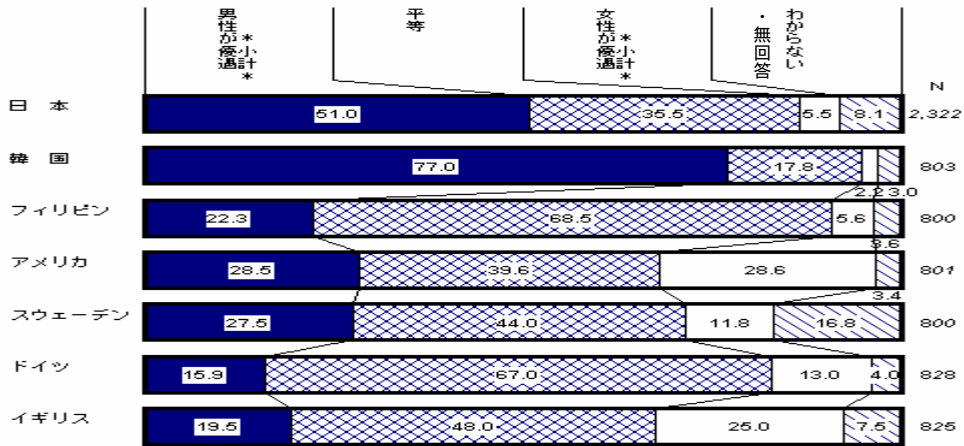
問1 男女の地位 E. 法律や制度の上



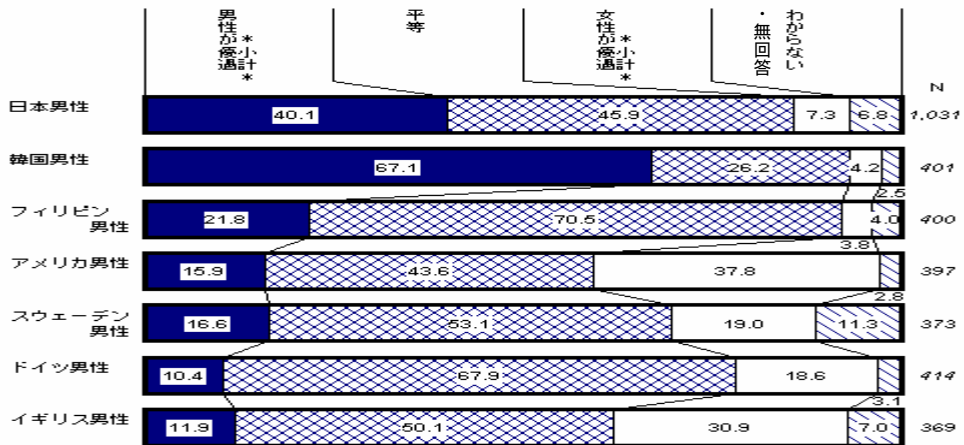
* 「やや男性（女性）が優遇」は「どちらかといえば男性（女性）の方が優遇」を示す。

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

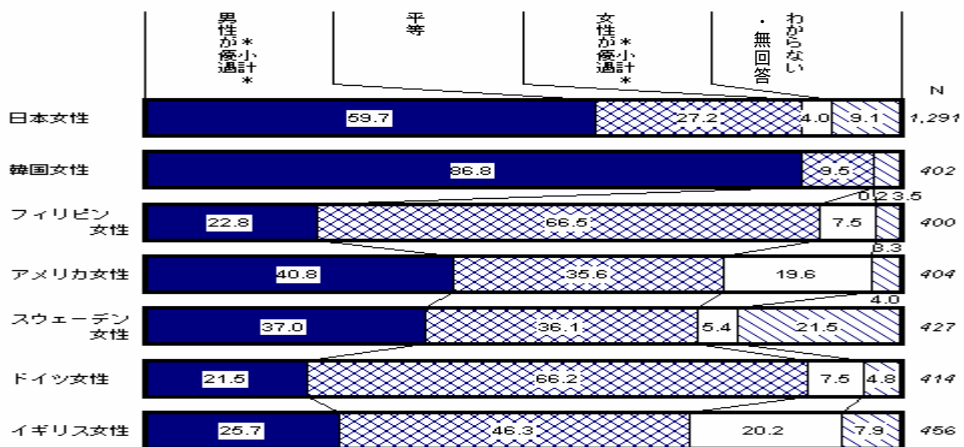
問1 E 男女の地位の平等感・法律や制度の上



問1 E 男女の地位の平等感・法律や制度の上



問1 E 男女の地位の平等感・法律や制度の上

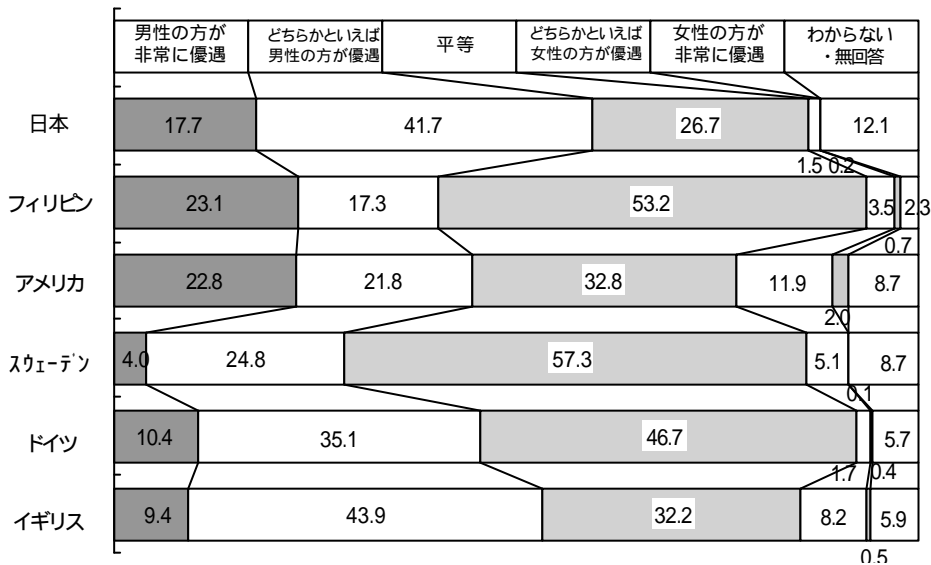


1982年調査との比較

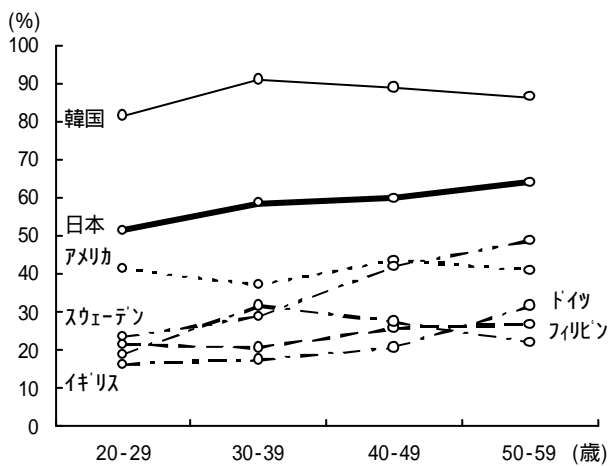
法律や制度に関しては、スウェーデン以外では、「平等」が増えている。「男性が優遇」が大きく減少しているのはイギリス（53.3%から25.7%）とドイツ（45.5%から21.5%）で、イギリスでは「女性が優遇」の増加（8.7%から20.2%）が著しい。逆にスウェーデンでは「男性が優遇」が28.8%から37.0%に上昇し、「平等」が57.3%から36.1%にまで下がっている。日本は「女性が優遇」が1.7%から4.0%へ増えた程度の変化しか見られず、「男性が優遇」が6割近くを占め、比較可能な6か国中では最高であった点も変わりはない。（今回は韓国が最も「男性が優遇」が多い。）

1982年との比較は不可能であるが、全年齢層を通して、韓国の高さが目立つ。20歳台がやや低いものの、年齢差は余り見られず、どの年齢層においても「男性が優遇」と感じる人の割合が高い。一方、年齢差が大きいのはスウェーデンで、年齢が高くなるほど、「男性が優遇」と考える人の割合が増える傾向が最も著しい。

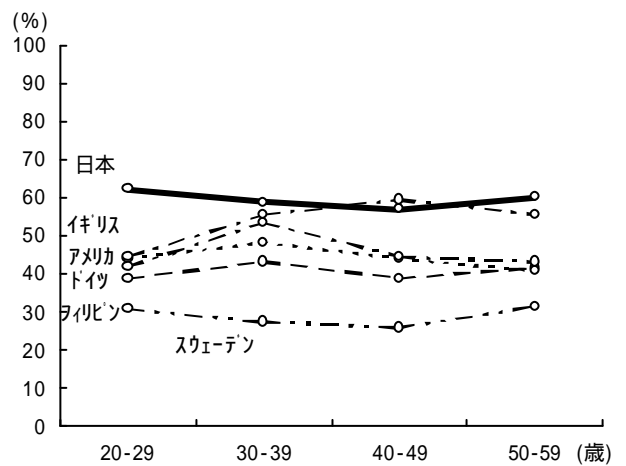
E. 法律や制度の上（1982年女性）



男性が優遇-2002年女性



男性が優遇-1982年女性



E. 法律や制度の上 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

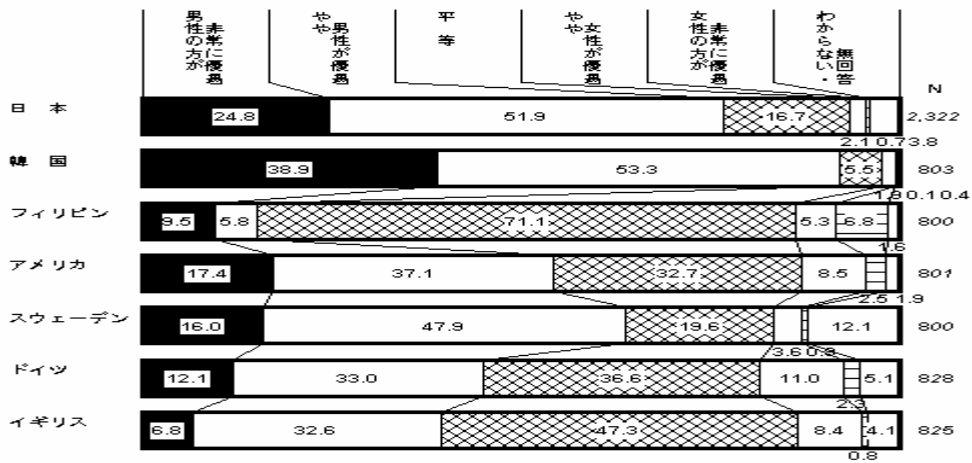
国名		年度	合計	男性の方が非常に優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない・無回答
日本	総数	2002	1,291	17.9	41.8	27.2	3.4	0.6	9.1
		1982	1,294	17.7	41.7	26.7	1.5	0.2	12.1
	20-29歳	2002	208	13.9	37.5	33.2	4.8	1.4	9.1
		1982	239	20.5	41.8	26.8	3.3	-	7.5
	30-39歳	2002	310	15.5	43.2	28.1	3.9	0.3	9.0
		1982	443	17.6	41.3	28.4	0.9	0.7	11.1
	40-49歳	2002	317	16.1	43.8	27.1	3.2	0.9	8.8
		1982	340	18.5	38.5	27.6	1.8	-	13.5
	50-59歳	2002	456	22.6	41.4	23.9	2.6	0.2	9.2
		1982	272	14.3	46.0	22.8	0.7	-	16.2
韓国	総数	2002	402	42.0	44.8	9.5	0.2	0.0	3.5
		1982							
	20-29歳	2002	130	40.8	40.8	16.2	0.0	0.0	2.3
		1982							
	30-39歳	2002	122	46.7	44.3	5.7	0.8	0.0	2.5
		1982							
	40-49歳	2002	91	38.5	50.5	5.5	0.0	0.0	5.5
		1982							
	50-59歳	2002	59	40.7	45.8	8.5	0.0	0.0	5.1
		1982							
フィリピン	総数	2002	400	15.0	7.8	66.5	4.0	3.5	3.3
		1982	1,200	23.1	17.3	53.2	3.5	0.7	2.3
	20-29歳	2002	135	15.6	5.9	65.9	5.9	4.4	2.2
		1982	442	21.5	17.2	54.5	4.3	0.7	1.8
	30-39歳	2002	131	13.7	6.9	69.5	1.5	3.1	5.3
		1982	338	25.7	17.5	50.9	3.8	0.6	1.5
	40-49歳	2002	89	15.7	10.1	64.0	4.5	2.2	3.4
		1982	260	23.1	15.8	53.5	3.1	1.2	3.5
	50-59歳	2002	45	15.6	11.1	64.4	4.4	4.4	0.0
		1982	156	21.8	19.9	53.8	1.3	-	3.2
アメリカ	総数	2002	404	18.6	22.3	35.6	16.6	3.0	4.0
		1982	1,200	22.8	21.8	32.8	11.9	2.0	8.7
	20-29歳	2002	104	16.3	25.0	33.7	18.3	2.9	3.8
		1982	393	22.9	21.1	36.6	12.5	1.3	5.6
	30-39歳	2002	105	13.3	23.8	37.1	20.0	1.9	3.8
		1982	333	22.2	26.1	26.7	13.5	2.4	9.0
	40-49歳	2002	117	20.5	23.1	34.2	15.4	4.3	2.6
		1982	236	23.7	20.3	31.8	10.6	3.0	10.6
	50-59歳	2002	78	25.6	15.4	38.5	11.5	2.6	6.4
		1982	238	22.3	18.5	36.1	10.1	1.7	11.3
スウェーデン	総数	2002	427	14.3	22.7	36.1	5.2	0.2	21.5
		1982	1,220	4.0	24.8	57.3	5.1	0.1	8.7
	20-29歳	2002	94	4.3	19.1	42.6	4.3	0.0	29.8
		1982	267	4.5	26.2	54.3	6.7	-	8.2
	30-39歳	2002	90	7.8	21.1	38.9	6.7	0.0	25.6
		1982	401	6.0	21.4	58.1	5.0	0.2	9.2
	40-49歳	2002	126	20.6	21.4	32.5	7.9	0.0	17.5
		1982	274	3.3	22.6	61.7	4.7	-	7.7
	50-59歳	2002	117	20.5	28.2	32.5	1.7	0.9	16.2
		1982	276	1.4	30.1	55.1	4.0	-	9.4
ドイツ	総数	2002	414	6.8	14.7	66.2	6.5	1.0	4.8
		1982	1,333	10.4	35.1	46.7	1.7	0.4	5.7
	20-29歳	2002	80	5.0	11.3	67.5	10.0	1.3	5.0
		1982	352	11.1	30.7	51.7	1.4	0.3	4.8
	30-39歳	2002	120	5.0	12.5	68.3	7.5	0.8	5.8
		1982	301	11.0	42.5	40.2	0.7	0.7	5.0
	40-49歳	2002	116	6.9	13.8	69.8	3.4	0.9	5.2
		1982	349	11.5	33.0	47.3	2.3	0.3	5.7
	50-59歳	2002	98	10.2	21.4	58.2	6.1	1.0	3.1
		1982	325	8.0	35.1	46.8	2.5	0.3	7.4
イギリス	総数	2002	456	6.6	19.1	46.3	19.1	1.1	7.9
		1982	1,224	9.4	43.9	32.2	8.2	0.5	5.9
	20-29歳	2002	107	5.6	13.1	52.3	23.4	0.9	4.7
		1982	328	7.6	36.9	37.5	10.1	-	7.9
	30-39歳	2002	145	5.5	26.2	44.1	15.2	1.4	7.6
		1982	427	10.1	45.4	29.7	9.4	0.7	4.7
	40-49歳	2002	113	7.1	20.4	49.6	15.9	0.9	6.2
		1982	267	14.6	44.9	30.0	5.2	0.7	4.5
	50-59歳	2002	91	8.8	13.2	38.5	24.2	1.1	14.3
		1982	196	6.1	49.5	32.1	6.6	0.5	7.1

(6) 社会通念・慣習・しきたりなど

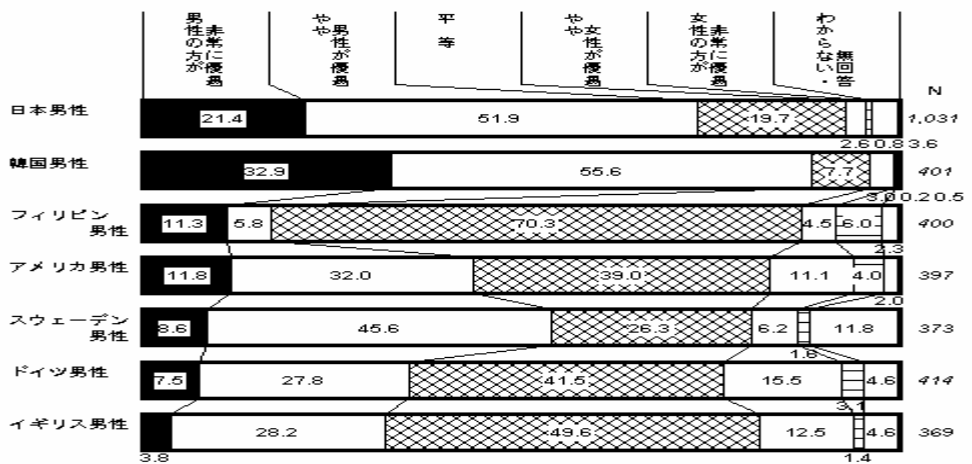
政治の場と同様、日本と韓国で「男性が優遇」の認識が際立って高く、日本では「男性が優遇」(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性の方が優遇」の合計)が76.7%、韓国で92.2%に上る。アメリカ・スウェーデン・ドイツ・イギリスが4割程度から6割程度であるのと比べると、これらの数字は飛びぬけて大きい。なお、フィリピンは15.3%と特別に低く、逆に「平等」であるとする者が71.1%にも上る。

男女別で見た傾向については、総じて、どの国でも「平等」と感じている者の割合は、女性より男性の方が高いが、フィリピンだけは、女性の方が「平等」と感じている者の割合が高くなっている。

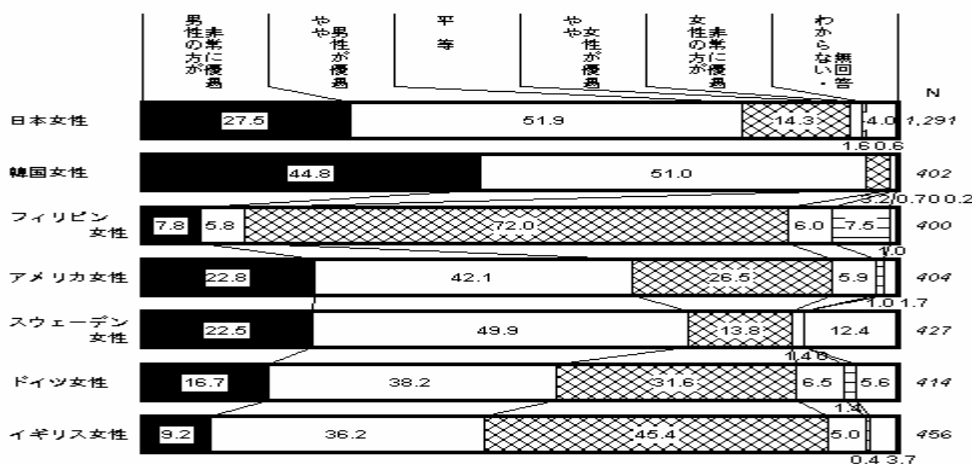
問1 男女の地位 F. 社会通念・慣習・しきたりなど



問1 男女の地位 F. 社会通念・慣習・しきたりなど



問1 男女の地位 F. 社会通念・慣習・しきたりなど

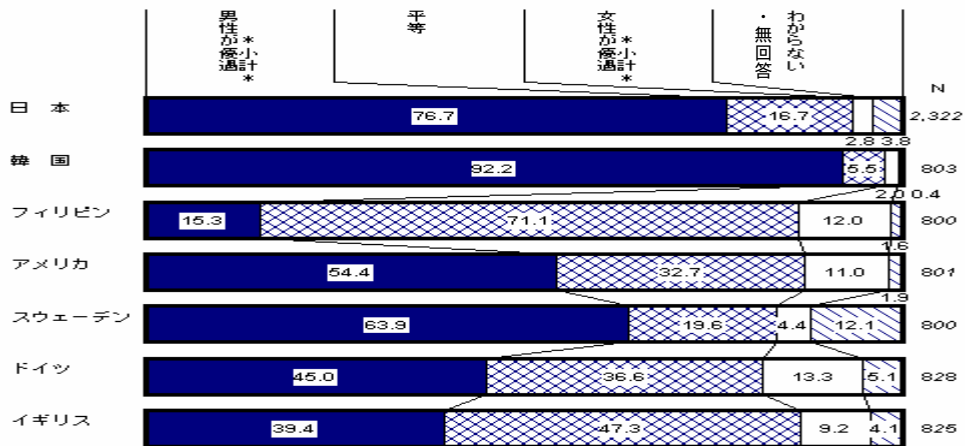


* 「やや男性(女性)が優遇」は「どちらかといえば男性(女性)の方が優遇」を示す。

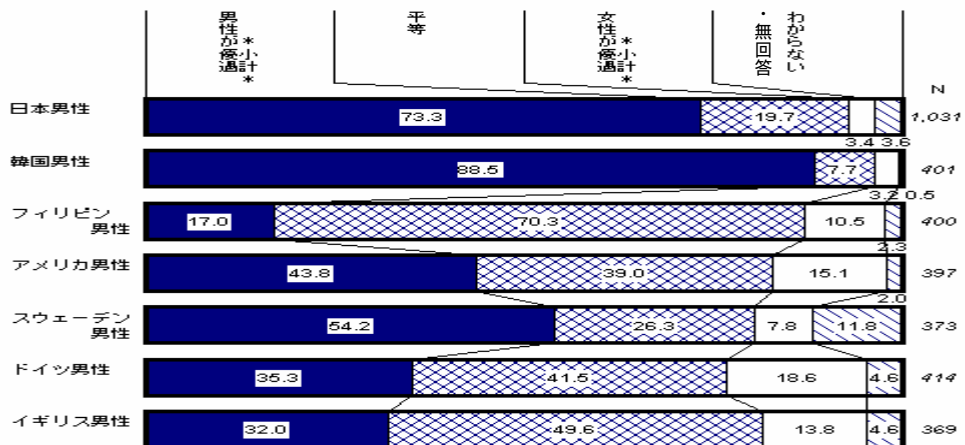
第2章 平等感

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

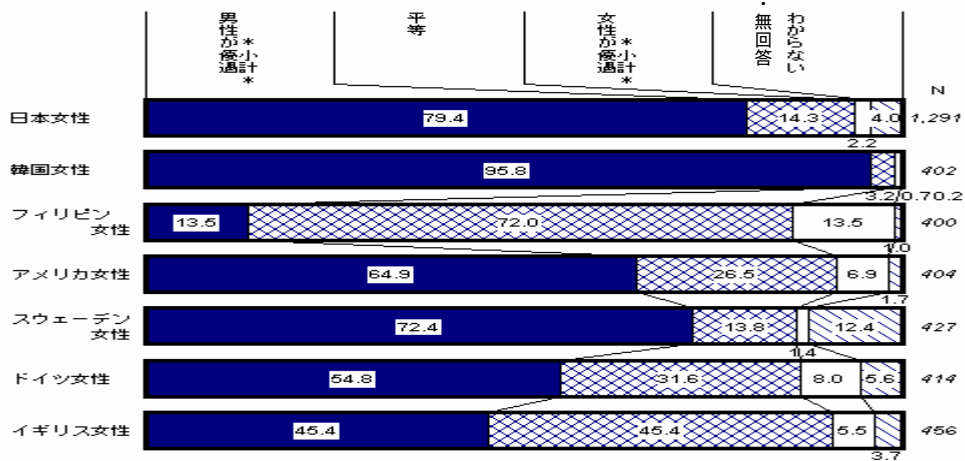
問1 F 男女の地位の平等感・社会通念・慣習・しきたり



問1 F 男女の地位の平等感・社会通念・慣習・しきたり



問1 F 男女の地位の平等感・社会通念・慣習・しきたり

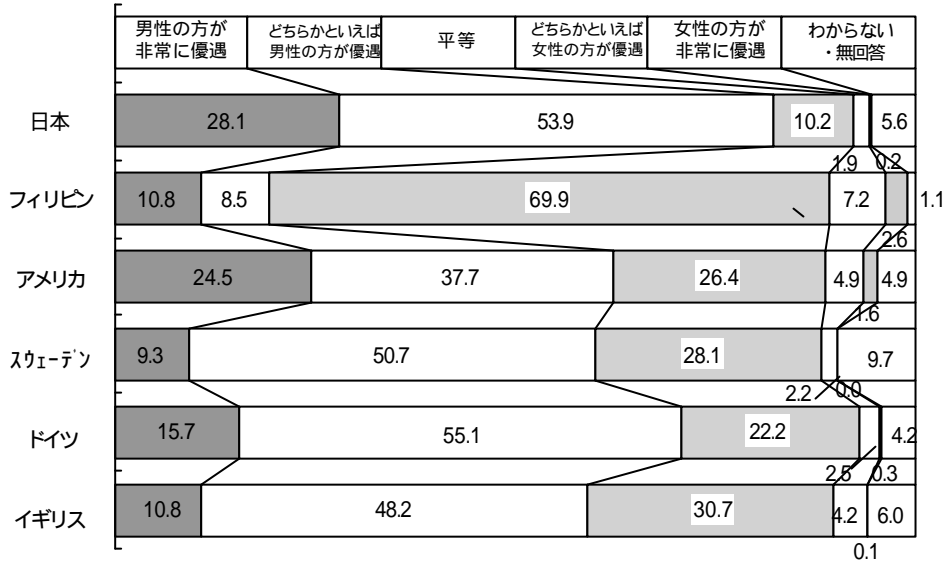


1982年調査との比較

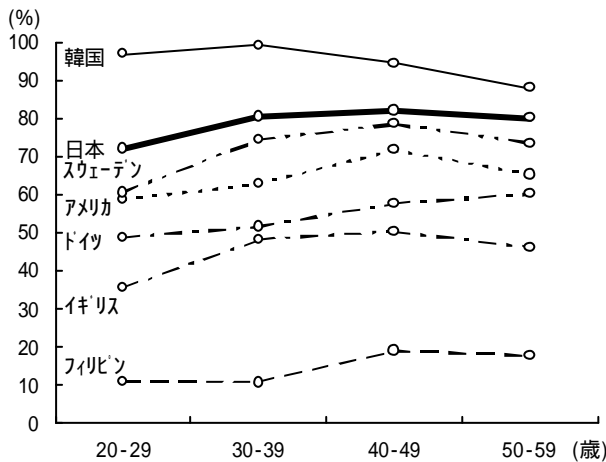
スウェーデン以外では「平等」が増加している。特にドイツ(22.2%から31.6%)・イギリス(30.7%から45.4%)では増加幅が大きい。スウェーデンでは、28.1%から13.8%へと大きく減少している。「男性が優遇」とする人の割合は、ドイツ(70.8%から54.8%)・イギリス(59.0%から45.4%)で大幅に減少し、逆にスウェーデンとアメリカでは「男性が優遇」が増加している。(次頁表参照)

年齢階級別の変化を1982年調査と比較すると、日本及びフィリピンは、「男性が優遇」と感じている人の年齢階級別の割合は、ほとんど変化が見られない。欧米4か国では、各国間の差が広がっている。韓国については、他国が、年齢が上がるとともに「男性が優遇」とする人の割合がやや増加する傾向にあるのに対し、逆に年齢層が上がるとともに減少している。

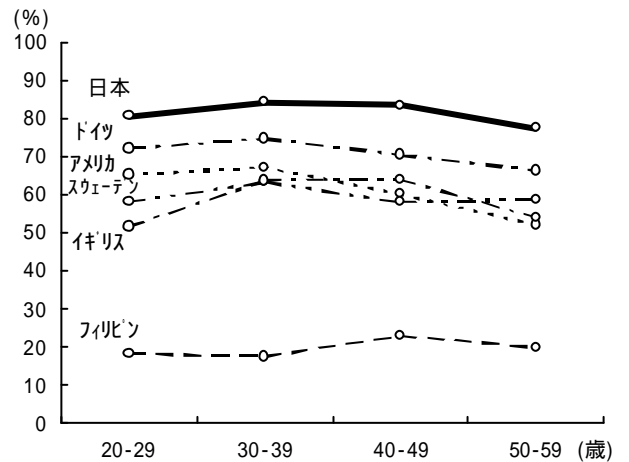
F. 社会通念・慣習・しきたり (1982年女性)



男性が優遇-2002年女性



男性が優遇-1982年女性



F. 社会通念・慣習・しきたりなど 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

国名		年度	合計	男性の方が非常に優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇	わからない・無回答
日本	総数	2002	1,291	27.5	51.9	14.3	1.6	0.6	4.0
		1982	1,294	28.1	53.9	10.2	1.9	0.2	5.6
	20-29歳	2002	208	17.8	54.3	20.2	1.0	1.0	5.8
		1982	239	24.7	56.1	13.0	0.8	0.4	5.0
	30-39歳	2002	310	26.1	54.5	13.5	2.3	0.3	3.2
		1982	443	33.4	51.0	9.9	1.1	0.2	4.3
	40-49歳	2002	317	30.9	51.1	12.3	1.3	0.3	4.1
		1982	340	29.1	54.4	8.5	2.6	-	5.3
	50-59歳	2002	456	30.5	49.6	13.6	1.8	0.9	3.7
		1982	272	21.3	56.3	10.3	3.3	0.4	8.5
韓国	総数	2002	402	44.8	51.0	3.2	0.7	0.0	0.2
		1982							
	20-29歳	2002	130	55.4	41.5	3.1	0.0	0.0	0.0
		1982							
	30-39歳	2002	122	45.1	54.1	0.0	0.0	0.0	0.8
		1982							
	40-49歳	2002	91	36.3	58.2	3.3	2.2	0.0	0.0
		1982							
	50-59歳	2002	59	33.9	54.2	10.2	1.7	0.0	0.0
		1982							
フィリピン	総数	2002	400	7.8	5.8	72.0	6.0	7.5	1.0
		1982	1,200	10.8	8.5	69.9	7.2	2.6	1.1
	20-29歳	2002	135	8.1	3.0	71.9	8.1	8.9	0.0
		1982	442	10.0	8.4	71.7	6.8	2.0	1.1
	30-39歳	2002	131	6.1	4.6	74.8	4.6	8.4	1.5
		1982	338	9.2	8.3	68.6	8.0	4.7	1.2
	40-49歳	2002	89	10.1	9.0	68.5	5.6	4.5	2.2
		1982	260	13.5	9.6	67.7	6.5	1.9	0.8
	50-59歳	2002	45	6.7	11.1	71.1	4.4	6.7	0.0
		1982	156	12.2	7.7	71.2	7.1	0.6	1.3
アメリカ	総数	2002	404	22.8	42.1	26.5	5.9	1.0	1.7
		1982	1,200	24.5	37.7	26.4	4.9	1.6	4.9
	20-29歳	2002	104	20.2	38.5	33.7	4.8	1.9	1.0
		1982	393	24.2	41.0	23.7	6.1	1.8	3.3
	30-39歳	2002	105	21.0	41.9	28.6	7.6	1.0	0.0
		1982	333	27.3	39.9	22.5	4.8	0.9	4.5
	40-49歳	2002	117	25.6	46.2	19.7	5.1	0.9	2.6
		1982	236	25.0	35.2	26.7	3.8	1.7	7.6
	50-59歳	2002	78	24.4	41.0	24.4	6.4	0.0	3.8
		1982	238	20.6	31.5	36.1	4.2	2.1	5.5
スウェーデン	総数	2002	427	22.5	49.9	13.8	1.4	0.0	12.4
		1982	1,220	9.3	50.7	28.1	2.2	-	9.7
	20-29歳	2002	94	20.2	40.4	16.0	2.1	0.0	21.3
		1982	267	7.9	50.2	30.3	3.0	-	8.6
	30-39歳	2002	90	14.4	60.0	13.3	1.1	0.0	11.1
		1982	401	11.0	52.4	25.9	1.0	-	9.7
	40-49歳	2002	126	26.2	52.4	12.7	0.8	0.0	7.9
		1982	274	10.2	47.8	29.2	3.6	-	9.1
	50-59歳	2002	117	26.5	47.0	13.7	1.7	0.0	11.1
		1982	276	7.6	51.1	28.3	1.8	-	11.2
ドイツ	総数	2002	414	16.7	38.2	31.6	6.5	1.4	5.6
		1982	1,333	15.7	55.1	22.2	2.5	0.3	4.2
	20-29歳	2002	80	12.5	36.3	37.5	6.3	0.0	7.5
		1982	352	15.9	56.3	21.0	3.1	0.3	3.4
	30-39歳	2002	120	13.3	38.3	30.8	8.3	2.5	6.7
		1982	301	18.3	56.5	20.3	2.0	-	3.0
	40-49歳	2002	116	15.5	42.2	26.7	9.5	0.9	5.2
		1982	349	16.0	54.4	22.3	2.3	0.3	4.6
	50-59歳	2002	98	25.5	34.7	33.7	1.0	2.0	3.1
		1982	325	12.9	53.5	24.6	2.5	0.6	5.8
イギリス	総数	2002	456	9.2	36.2	45.4	5.0	0.4	3.7
		1982	1,224	10.8	48.2	30.7	4.2	0.1	6.0
	20-29歳	2002	107	8.4	27.1	57.0	4.7	0.9	1.9
		1982	328	10.1	41.5	39.0	3.0	-	6.4
	30-39歳	2002	145	8.3	40.0	43.4	3.4	0.7	4.1
		1982	427	11.9	51.8	27.4	3.7	-	5.2
	40-49歳	2002	113	10.6	39.8	45.1	3.5	0.0	0.9
		1982	267	13.1	50.9	24.7	4.9	-	6.4
	50-59歳	2002	91	9.9	36.3	35.2	9.9	0.0	8.8
		1982	196	6.6	47.4	32.7	6.1	0.5	6.6

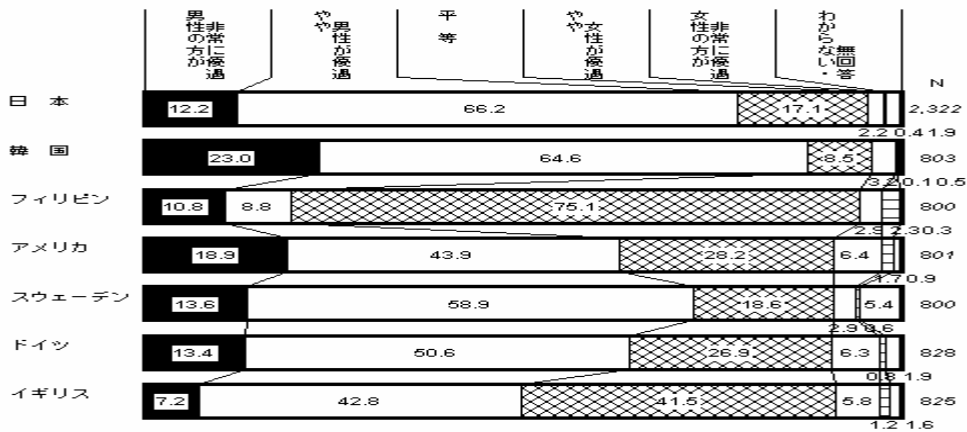
2. 社会全体における男女の地位の平等感

問1の各質問での結果同様、フィリピンは「平等」との認識が際立って高い(75.1%)。フィリピンを別格にすると、イギリスが最も「平等」という答えが多く、41.5%に上る。欧米4カ国中で「平等」の認識が最も低いのは、スウェーデンの18.6%である。特にスウェーデン女性では「平等」との回答は10.3%しかない。

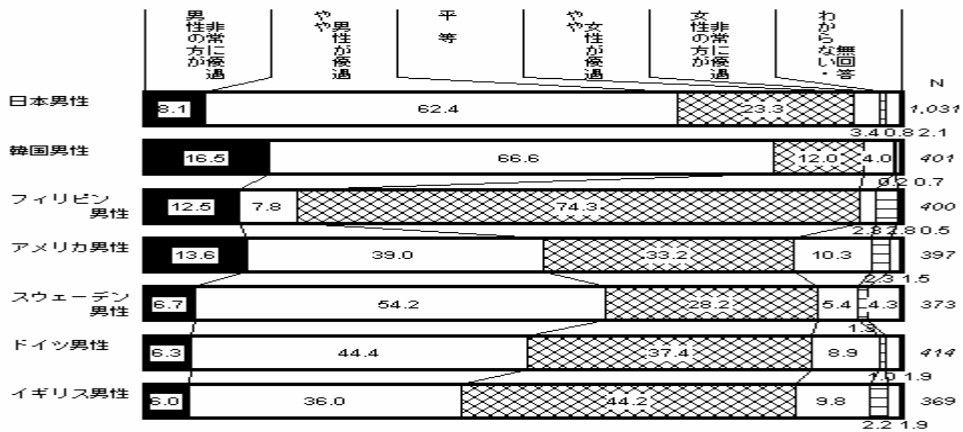
日本と韓国は「男性が優遇」(「男性の方が非常に優遇」と「どちらかといえば男性の方が優遇」の合計)と考える人の割合が高く(日本で78.4%、韓国で87.7%)、韓国は、「平等」の認識が目立って低く、8.5%しかない(次頁グラフ参照)。

男女別にみると、フィリピン以外では女性の方が「平等」と感じる人が少ないが、フィリピンだけは男性で74.3%に対し女性で76.0%とわずかではあるが女性の方が「平等」との認識が高い。

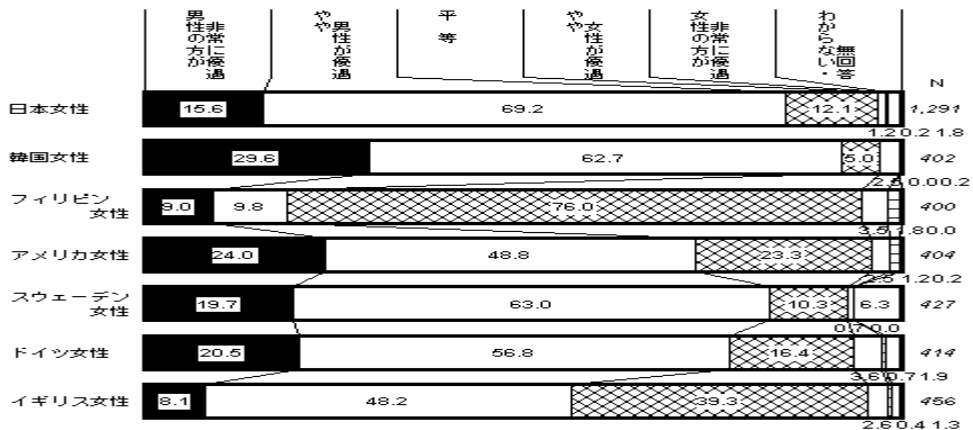
問2 社会全体における男女の地位の平等感



問2 社会全体における男女の地位の平等感



問2 社会全体における男女の地位の平等感

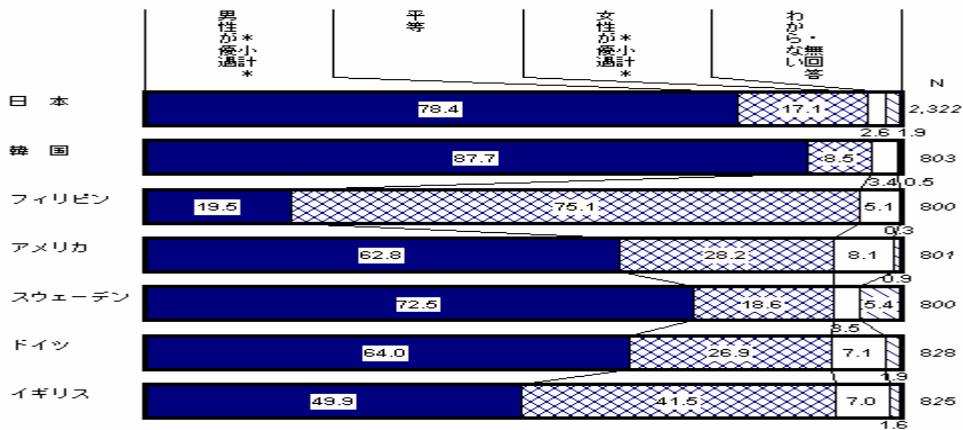


* 「やや男性(女性)が優遇」は「どちらかといえば男性(女性)の方が優遇」を示す。

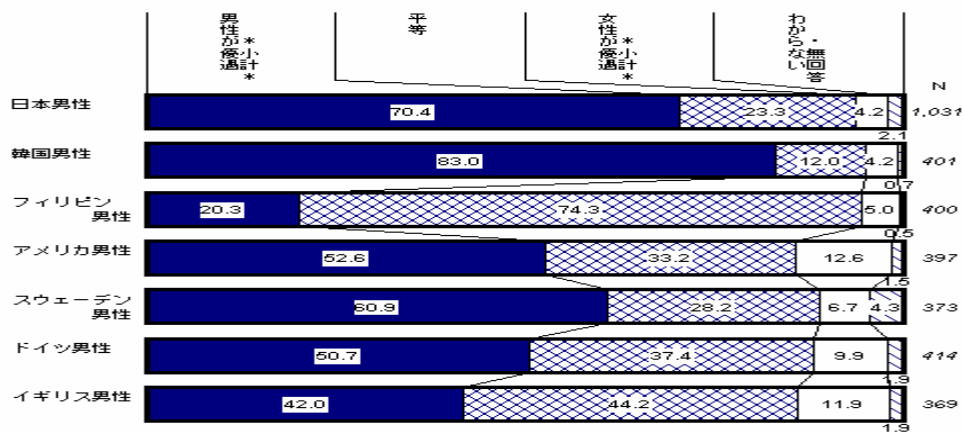
第2章 平等感

参考：平等感（「優遇」については前グラフの「非常に優遇」と「やや優遇」の小計）

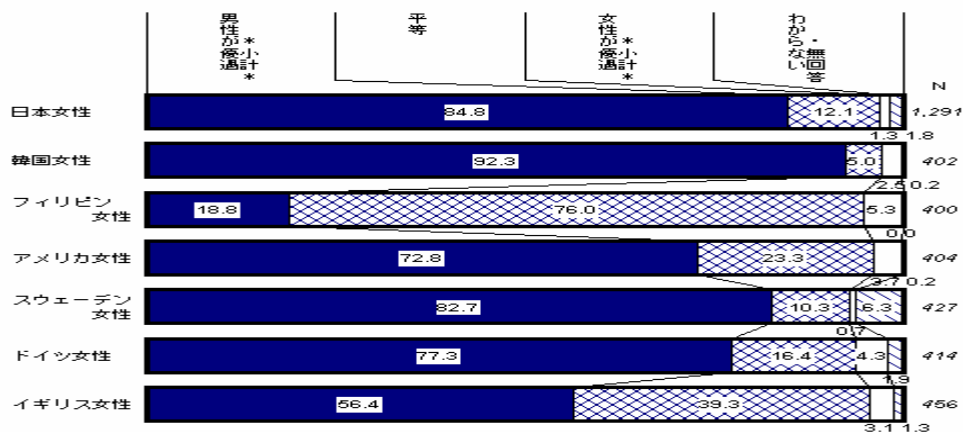
問2 社会全体における男女の地位の平等感



問2 社会全体における男女の地位の平等感



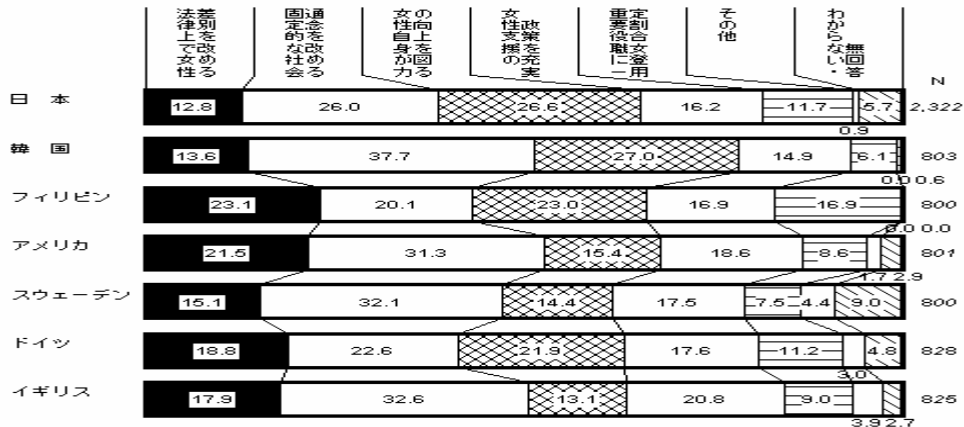
問2 社会全体における男女の地位の平等感



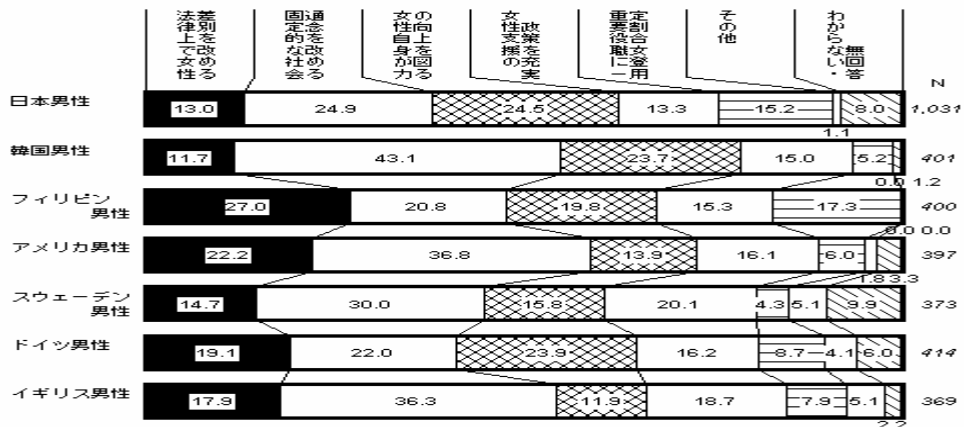
3 男女が平等になるために最も重要なこと

いずれの国でも、「固定的な社会通念を改めること」は重要視されている。韓国、アメリカ、スウェーデン、ドイツ、イギリスでは、これを最重要視する回答が最も多かった。日本は「女性自身が力の向上を図る」と回答した人の割合が最も高い。「重要役職へ一定割合を登用」との回答は、日本はフィリピン同様、女性側の回答割合が男性側よりも少ないとの特徴がある。欧米4カ国においては、法律による女性差別の是正や女性支援政策の促進等、社会的制度改善を重視する傾向にあり、アジア諸国において、「女性自身の能力開発」と個人的資質向上を重要視する傾向とは対比的である。

問3 男女が平等になるために最も重要なこと



問3 男女が平等になるために最も重要なこと



問3 男女が平等になるために最も重要なこと

